

會報



駒場松桜會

No. 10

財団法人 駒場松桜會

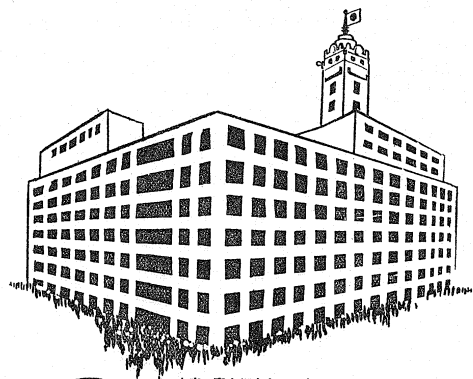
010

会
報

第十号



大切なお金で
上手なお買物



本店・東京都中央区日本橋室町
支店・新宿・銀座・丸之内(東京)大阪
神戸・京都・高松・松山・仙台・札幌

三越

目次 会報 第十号

表紙(仰光寮)並にカット	二七東	鎌田和子
御挨拶	理事長長坂勝一	五
永らく御世話様になりました都立西高等学校長	長倉邦雄	六
美しき樹木	駒場幼稚園長古賀残星	八
老人夫婦の今日此頃	特別会員広瀬	九
新会員の皆様へ	理	一〇
仰光寮の思ひ出	二東山本順子	一一
学園便り	母校の近況	二五東佐藤浩子
	新入会員挨拶	駒場の三児島洋
	校長先生の移動	二年翠川晴子
		二二
		二三

高校生活と自治活動	二年長谷川茂子	三
相互の理解を深める	二年松本享子	四
明るい新校舎	二年羽藤八重子	五
今年の学園祭	二年石崎勢津子	一五
駒場スポーツだより	二年木村朝子	一六
幼稚園便り	二四中石田喜美	一七
松桜会便り		一八
会計報告		一九
通常・特別		一九
終身会費納入者名		二〇
会員消息		
支部便り		三六
各級便り		三九

校歌

大空高く富士が嶺白く
 若草萌ゆる駒場の丘に
 松の緑の榮ゆる園生
 真金白珠よそえる文の舎
 慕いて集える我等の友よ
 朝日に匂える板にたぐい
 輝く緑の松にもきそえ
 松よ板よ誠のしおり
 かたみに敷えて葉をものはげみ
 珠とも磨きて世をしも照らせ
 珠よ真金よ我等が願ひ
 光よ誠よ我等が望みを

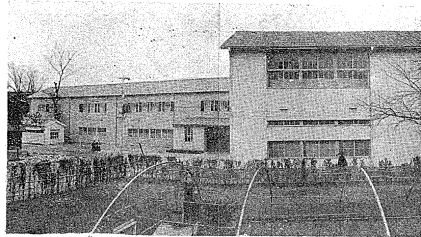
駒場幼稚園の歌

古賀 残星 作詞
 安西 愛子 作曲

一、あさひをあびて けやきのき
 かもがないてる いけのなか
 はなもさきます たのしいな
 こまば こまば
 ぼくとあたしの ようちえん

二、うたをうたって あそびます
 おてできれいに にこにこ
 そらはあおぞら たのしいな
 こまば こまば
 ぼくとあたしの ようちえん

新校舎



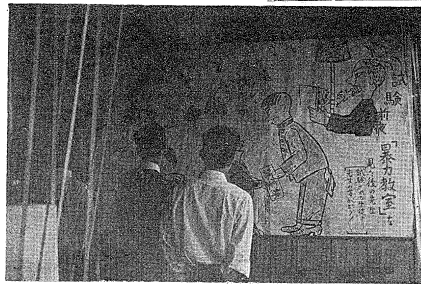
音楽会



図書室



学園祭





幼稚園正面



ヴァイオリン教室



遠見

長倉先生送別会



幼稚園開園式



卅年総会のコテロン



あなたの夢を編み出す

てまり毛糸

トップ染高級品



大東紡織株式会社



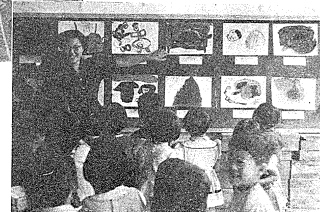
卒業式



金魚つかみ



運動会



絵の説明

電話(29)四、六七七・八、三一五

財団法人 駒場幼稚園

場所 目黒区上目黒八丁目六〇番地

電話 (46) 二九五九

井の頭線 東大前下車三分

玉川線 大橋下車五分

園長 古賀 残 星

教諭 (主任) 石田 (中) 松浦 (駒場)
磯長 (高) 津田 (駒場)

入園案内

年齢満四歳—年齢まで
簡単な検査の上入園を許可いたします

経費

入園料 一五〇〇円 教材費 二〇〇円
保育料 八〇〇円 母の会費 一〇〇円

音楽教室

ヴァイオリン科 (水・土)
ピアノ科 (火)

入会随意

講師 牧野守二郎 外

バレエ教室

(日・月・水・土)
入会随意

講師 堤 世王巳
(二五南) 堤 治子 長女

ダンス教室

(木・金)
三時より

講師 小林 貞子
(二四西)

絵画教室を
開く予定

講師 鎌田 和子
(二七恵)



御 挨拶

理事長 長 坂 勝 一

長年駒場高校と松校会の発展のために、御尽力をたまわった長倉先生の御栄転の後をお引受けすることになりましたので、松校会のみな様に御挨拶申し上げます。
駒場高校の前身である東京府立第三高女は、明治三十五年四月、麻布に創立されておりますが、私も明治三十五年生れであることは、本校に任命された時、これは何かの因縁と思いました。
学生時代に、音楽好きの私は第三高女の音楽会を聴いたことがありまして、玉井先生の独唱された時のお姿や、あの麻布の講堂を今でも憶えております。昨秋の本校の運動会に玉井先生がお見えになりました。あの時と全く変らないほどのお元気に、心からお慶び申し上げます。何万と教える先輩の残された清らかな気風と自由の精神とは、今なお続いております。運動会の時、老いも若きも共に手を取り、ステップを合せて踊られるコチロンは、本校のような長い歴史と伝統があればこそ思っております。
戦後麻布から移築された仰光寮は、生徒が華道や筆曲を習ったり、クラス会をする場所になっていますが、松校会のみな様の会合の場所にもなっております。心のよすがとして、また心の故郷として、みな様の思い出深い建物であります。
母校は目下全日制普通科、体育科、芸術科、定時制普通科を持つ大規模な高校として発展しております。サッカー場、野球場、プール、陸上競技場、その他各種の屋外コートは備っておりますが、只一つ残念なことに体育館や講堂がありません。体育やスポーツ練習につきましても、音楽会や講演会等の開催につきましても多大の支障を来しております。このような建物は現在のところ部では建ててくれませんので、近き将来何とかしなければならぬと思っております。その折は強い御激励と厚きお力添えを下さいますようお願いいたします。
松校会の御発展と、みな様の御健康を心から祈りあげます。

略 歴

明治三十五年一月十七日父京区にて出生
京北中学校旧制戸高等学校を経て東京大学文学部社会科学科を昭和二年三月卒業
日大二高に四年、都立北園高校に十八年教諭として勤務
都立足立高校へ長六年四月を勤務して、昭和三十年十一月日本校長として就任

永らく御世話様になりました

都立西高等学校長 長 倉 那 雄

「永らく御世話様になりました」

私が駒場に御厄介になることになったのは、昭和廿一年九月ですから、丁度九九年と一ヶ月、駒場の校長として、御世話になったわけです。着任早々は、全く五里霧中でした。というのは、校地校舎は勿論、職員、生徒、父兄、同窓会等、学校に関する一切のものが不安定で、どこにも私の心のより場所がなかった、といっても過言ではありません。しかし一日たち、二日たつうちに、段々人の心の暖さを感じるようになり、九年一ヶ月後、駒場を去る時は、何ともいえない愛着の念を禁じ得ないものがあり、半歳たった今日でも、駒場は自分の生家のようないきいきとした、時々不慮に御邪魔さしても構っていただきます。

私が駒場に参りました当初は、何でも「伝説ある第三、光輝ある第三」で、おどかさね通してました。何だか職務にあつて、全校舍、金庫を焼失したのも私のせいだし、駒場のボロ校舍に移ったのも私のせいだし、男女共学を実施したのも私のせいだし、学校の職員生徒の間に起った色々なトラブルもみんな私のせいのように、いわれるような気がしました。これ等は何も私のせいではなく、日本の運命、駒場の運命が、そうさせたので、この運命との闘いが、私の駒場生活の全部であつたのです。

学校が駒場に移ってから、同窓会は、ほんとにいろいろな仕事をしてくれました。先づこの学校よりも早く、

多難な同窓会名簿の整理に着手していただき、最初の名簿が印刷されたのは、印刷用紙もなか／＼手にはいらぬ時だったと記憶しています。勿論、みなさんの住所氏名等、半分位は実際と違っていたかもしれませんが、こうしたことが、かえって同窓会に対する関心を呼び起こした重大な動機になつたと思つています。

それから今もって感謝していることは、牟礼の農園に先生方の寮を作つていただいたことです。どれ程先生方がたすかったかわかりません。

仰光寮の移転、初代校長の胸像再生、最近にいたつて、同窓会経営の幼稚園創立、どの一つをとっても大変な仕事だったと思います。いづれも同窓各位の寛大な、しかも熱心な奉仕によつて、どの仕事も、よその学校の同窓会は驚嘆しています。

世の中で美しいことは、多くの人達が、力を合せて、共同の福祉の為に働くことだと思つて、一人一人の思はくや、利害を超越して、世の中のためになることを計画し、これを実行することに喜びを感じる人生程しあわせなものはありません。第三——駒場の同窓生各位が、将来もこのしあわせを求めて、ゆかれることを期待してやみません。

京都・大阪・福岡その他各地の同窓生各位には、行く先／＼で色々御厄介になりました。これからも本部の方々と力を合せて、母校それ自身の、又母校同窓会の発展のために御協力下さい。

全国一万余の同窓生各位に、駒場離任の御挨拶と、ながいあいだ御厄介になりましたことに対する感謝の意を述べるつもりで書きました原稿が、つい思ひ出話だけで終りになりました。御許し下さい。



美しき樹木

駒場幼稚園長 古賀 残星

けやきの太木を仰いで、その枝ぶりをみると、たくましく伸び、鋭く青空を刺している。花は早春新葉とともに生じ、淡黄緑色らしい。この美しいけやきの太木が、わが幼稚園の入口にある。これは武蔵野の面影を語る名残りの樹木であろう。けやきの材は、黄ばんで堅く、木め美しく、磨けば光沢を生じ、くるいが少い。人間も、けやきのようによくに遇しく、そして、美しくありたいものだ。ここに遊ぶこともたは、このけやきの精を受けて、将来のびてゆくだろうと、私はたのしく見ている。

同窓会として、よい仕事をはじめられた。花園を作られ、そこに草花をうえられた。私たちは、毎日これをつちかっている。日光がよくあたるように、水をたやまぬようにと、努力はしているものの、未だ年輪も浅くすべてはこれからである。教育の仕事は、根気よくやらねばならぬ。

けやきの梢に、朝日が照り緑葉がかがや。雲が流れ、新月がかかっていることもある。こどもは、どんなこになつたり、けんかをしたりする。この生活のなかから、ちえの芽、気力の芽、芸術の芽がそだってゆくのである。摘みとらないで、伸びるだけ、伸ばしたがい。盆栽にしないで、空を摩す太木をめざしたがいと思う。日本はいずれも満員だ。したがって、せせこましい、小かしこい人間ばかりが多くなりつつある。そんなネズミは不用である。

失いたくない子供心、これは大人になると、誰もが感ずるところであろう。枯葉のように、カサカサになった心でも、子供の世界をのぞくと、童心に帰り、微笑が湧くものである。

ここで、私はあいさつをするのが、普通の常識であろうが、形の如くいうのは、またかと思つて祝詞と同じように、面白くないからやめた。人間は正直なところ、面白いことが好きである。お互いに笑つて暮らしたがい。しかし、人生はそうばかりならぬから、歌があり、宗教があるのだから。

会員の皆さん、お通りかかりの折は、気楽に幼稚園にお寄り下さい。そして、忘れかけた童心を思い出して下さい。虹の向うの青い空、そんな歌とどこできこえる。

佐賀師範、東京師範、詩人、小説家、柔道講道館七段

老人夫婦の今日此頃

特別会員 広 瀬 雄

私ども夫婦は毎朝五時半頃起きます。そして六時半頃には田端駅から国鉄で蒲田駅へ行き、其処で目蒲線に乗換え、矢口の渡駅で下車、徒歩六七分で勤先の荏原高等学校へ到着します。此の間約一時間余り。職員は誰よりも早い出勤です。と言つても職務に熱心な為からではなく、若い先生方へ見せしめにする為でもあります。単に電車内の混雑を避ける為なのです。元氣のいい若い人たちにもまれながら、釣革にぶらさがつて揺られて行くのは堪えられません。午後の三時か四時には誰よりも先に帰ります。幸なことに其の時刻には国鉄蒲田駅から大宮駅行の折返しが出ますので、これ亦ゆくり腰かけて本を読みながら、朝と同様乗車時間約一時間を有効に使うことが出来ることを喜んでいきます。

帰宅すると直ちに和服に着換えて、細炬燵にもぐり込み、老婆と世間話をするこ約三十分、あとは老生趣味の英語の新訳、通訳、名訳あさりに二時間費す中に、夕飯となり、行儀の悪い事とは知りつつも、炬燵に入つたまま食事を致します。そして食後は八時頃入浴、直ちに就寝することにきめています。

思えば三年前までは炬燵が大嫌いで、ガストーヴと火鉢と暖房とを併用していたものが、今は大の炬燵礼讃組に転向してしまいました。これというの年をとつた故でしょう。無理はありません。八十三歳となつたのですから。

新会員の皆様へ

理事

年毎に平静にもとり名実共に陽春の候といへる様な春が訪れてまいりました。本会もこの春は新理事長、長坂先生をお迎へしての第一年度の春、そこへ多数の新らしい会員の皆様もお仲間入りして頂きまして私達の喜びはこの上もございません。

同窓会とはどんなものだろうかと思ひになりました。色々の規約はありますけれど一口に申せば卒業して月日がたてばたつ程その真価の分ってくるもの、即ち何年たつてもその時現在の自分となつかしい母校とをつないでくれるもの、それが同窓会でございます。光輝ある伝統をもつ吾が松校会々員となられた新会員の皆様、皆さんの洋々たる前途にも山あり、谷あり、思はぬ難関に逢はれる時もありましょう。けれど、凍てつく冬を越してこそ花咲く春の喜びもあり、やけつく夏の暑さを凌いでこそ爽涼の秋の楽しさもあります。皆さんの先輩もそれぞれの立場に於て如何なる場合にも不屈の精神を以て立派にのりこえ結果を納めて居ります。どうぞ皆様も入学発表の折の感激、卒業式の時の一生忘れ得ぬ思い出と共にいつまでも「駒場の精神」を一生の指針として学窓に、職場に、御精進御活躍あらん事をお祈りして止みません。

仰光寮の思ひ出

一三東 山 本 順 子

仰光寮が麻布から駒場に移り越して早くも五年、此頃ではいかにも安住の地を得たと云う様に周囲の風景にもよくなちみ落ち着いて見える様になりました。私達同窓生の心の拠り所、母校懐しの象徴として昔のまゝのたゞすまいで眺められますことは此の上も無い喜びであり誇りでもありませう。

願れば母校が戦災に遇つて駒場へ移り去つてから仰光寮はお山の樹立の中にボツンと取り残されてしまつたので、当時の理事さん方は、この大切な建物を何とかして保存維持したいとあらゆる御苦労を重ねられたものでした。一方母校が駒場の地で日進月歩の発展を遂げられますにつけ、何とかして仰光寮も同じ所に在つてお役にたきたいと皆様の御希望があり、熱心なクラス委員の方々が腰をお集りになつて御相談の上、五十周年記念事業として移築に取りかゝる事になりました。

当時（昭和廿四、五年頃）は会員の住所も今日程整つていませんでしたけれど、全国各、海外までも微を飛ばして御賛成御協力をお願い致しました。

いよいよ建築家に調査して頂きますと、二度目の移築ではあり戦時以来の腐朽も甚しくてその費用は相当なもののお話。いつそその費用で規模は小さくとも現代風に新築をする方が利用価値が高いのではないかと論議を交された事もあつたのです。茲来幾度か案はたてられ練られ一面資金獲得の為に音楽会やバザー、映画会等ひらき、又或東北の会員などは夫は戦死し三児の養育の為、馴れぬ工場に働いて居る身、餘糧とて無い現状がらなつかしい仰光寮の事なればと募い現金をされた方もあり、さうして仰光寮は大勢の力で現在の所に移されました。

今日では都下の学校には珍しき純和風御殿式の建物で大きく利用され、これを下し賜うた皇后様の御徳を承く光と仰ぐ事が出来まして共に慶祝致し度いと思ひます。

学園便り



母校の近況

佐藤

駒場高校は、六年前、男女共学がはじまり、保健体育科・音楽美術科の二つのボケイ・ナル・コースが併置され、一時はとまどった駒場も、長倉前校長及び先生方の一致協力のおかげで、最近ではおもしろい、立派な立派な中での名門としてその名をひびかせている。今後はこの土台の上にますます発展の一途を辿る事を確信している。

何といつても長い歴史に伝統の上に立っていること、及び校長先生を中心として先生方の並々ならぬ真摯な御努力、これが駒場の推進力である。現在国語は、鈴木敬順先生を始めとして、新井(敬称略)下岡、吉田、狩野、佐藤、前島、林、片岡、社会は、佐藤、清水、渡辺、久保田、渡辺、橋本、数学は、木村、吉村、黒田、藤岡、則行、理科は、青柳、守屋、高橋、戸城、田辺、春成、体育は、石川、竹村、張守、小貫、音楽は、牧野、岡田、鈴木、美術は、大野、渡辺、善方、落合、染田、山中、原田、以上四十四名の専任教諭を擁し、その他講師八名で、駒場の名に背かぬ強力なスタッフである。

昨三十年十月に赴任された長坂勝一、新校長は、東大文学部社会学科の御出身で、長倉校長のあとを継いで、一層の発展へと懸命

に御努力下さることは、何よりも力強いことである。

本校は他校と違い、二つのボケイ・ナル・コースのお蔭で、構造的にも体育的にも優れた全人教育の効果をあげており、進歩・就職の率も優秀である上に、豊かな和やかな何かをもっていると思われる。長い眼で駒場の前途を見守っていただきたい。

雄師兵衛に立ち上った本校は、長倉前校長の御努力で、新校舎二棟、図書館、給食館、プール、競技場等々よくと整備したが、今、本校の一番の悩みの、体育館、講堂のないこと、本校の教育にとってどの位マヤスになっているかわからない。何とかこの十年来の願望を新校長に実現していただきたいということが関係者一同の願いである。

新入会員挨拶

駒八の三 児島 洋三

謝恩会での皆の歓声やとめぎが、まだ耳の底に余韻となつて響いて来ます。胸の中には三年間の思い出が走馬燈の様に……もう、卒業したという感動でいっぱいです。三年前に、旧長倉校長先生が云われた、「三年間は短い」という言葉が、真に胸に迫つて来ます。今度、保健体育科卒業生は、第四期生として、新に同窓会の会員となる事を非常に光栄に思つて居ります。振り返つて見ますと、僕達の三年間に、駒場は随分発展した様に思いますが、ただし、現状で充分とは思いません。だから、今度、新に同窓会の会員になつた僕達は、この駒場を発展させようという役目

を、分け負ひ甲斐があるのではないかと思います。何かと悩みの多かった三年間、その度に毎に先生の御指導に依つて助されたものです。今度は、僕達がこれらの駒場の後継を、僕達の先輩の助言に従つて、指導して行くという大任に意を強くしている訳です。又、これからは止の中を渡って行く時、僕達は、常に艱難、辛苦に相対せねばなりません。その様な時には、先輩の良き助言と御指導を頼らんとすべく願ひ致します。最後に、此度の保健体育科卒業生を代表しまして、これからずっと、お互いに手を取り合つて駒場の発展に寄与する事を誓つて新入会員の挨拶に代えてさせて頂きます。

校長先生の移動

二年 翠川 晴子

昨年十月一日に、都教育庁の都立学校校長移動が発表されました。その移動にもれず、昭和二十一年九月から約十年の一番苦勞の多かった年月を本校々長として本校の充実と発展のために御貢献下さった長倉先生が西園高校に御転任なさり、その後、「足立高校」に六年間勤務しておられた長坂勝一先生をお迎えしました。

先生は昭和二年二月に東京大学文学部社会学科を御卒業になり、その後、日大三高に四年間、都立北園高校に十八年間、教諭として勤務なされ、都立足立高校々長六年四月の勤務の後、こんどの移動にあたり、本校々長として御就任になりました。非常に頼みやすい御性格であり、運動も好きで、昔はサッカ

高校生活と自治活動

二年 長谷川 茂子

最近の生徒会は何にしての活動を活性化するかを研究し努力しているが、学園祭の開催や歌の会「どくろり会」の創設など表面的な活動とともにその活動も徐々に充実して来ている。しかしまだ会員である生徒の関心がよく、これが生徒会のスムーズな運営にブレーキをかけることが多い。生徒の自治活動など考えられなくなった昔から思えば生徒会は非常に素晴らしいものである。史実告々の学校生活に於いてこれは重要な位置を占めている。

近頃学園になつた事に過剰の取締り強化のことがある。これは

異常に多い遅刻者の調査をして反省を求め、その結果として遅刻者を減らすというもので、生徒会の委員の間で計画され先生協力を得て実行された。遅刻に対しては今まで再三学校側から注意があったにもかかわらず効果が出なかったが、この調査の後遅刻者が目に見えて減った。このように効果が出たのはこの計画が生徒の間から起って生徒自身の手で行われた点であるという声が多い。これが生徒会である。自分達のことを自分達で考えて自分達で実行するのである。それによる効果は人から与えられてやるよりはずっと多い。

生徒会の中で最もみんな関係深いのは校会である。校会会の活動が生徒会一般の活動に比して活発なのは多くの生徒が直接参加しているからである。現在の状態では大体に於いて二年生が主力となり、三年生は顧問という形になって活動しているところもあるが殆ど参加していない。原因は言うまでもなく進学・就職の準備のため、ここにも「教養門」の影響が及んでいる。

高校生活の中で自治活動の喜びは学問する喜びと共に永く吾々の心に残るであろう。

相互の理解を深める

——男女共学制——

二年、松本享子

名目上は共学制だが実質的には男女別という才進した服装にあった校服は、今年度より二、三年の一部を除いては男女同教制

明るい新校舎

二年、羽藤八重子

私たちが入学して間もなく新校舎増築工事が始まった。名物の大樑とか三本も切り倒された跡に、夏休み前に早くもこの落成を見ることができた。クリーム色の壁に赤瓦のスマートな建物である。それまでのうす暗い、何の設備もなかった部屋とうってかわった生物教室・書道室をはじめ、教室、それぞれ最新の設備がなされている。さて、この明かるい新館の部屋にひきこられて本館が暗々陰々さくなるのだが、もともと兵舎だったので造りが非常に頑丈で未だ修理を要しことがないという点で、着工はむしろいいらしい。都では、二、三年後に鉄筋二階建てになることが計画されているとのこと。

新校舎落成に次いで私たちが最も期待するのは講堂兼体育館の新設である。グランドのある校舎は珍しが、講堂のない学校も又珍しい。など参観にいらした方々にいわれたこともある。去年、本校に転任してこられた長坂校長先生も、前任教での御経験もあって着々と準備をしておられ、来年度一年間をこのための準備期間とし、父兄・同窓生の御協力を請うと言っておられる。講堂設立ができるだけ早くしたいために対外的な面も考えて、校長先生の言葉により、私達は従来講堂と呼んでいた場所を、一般教室ということにしている。講堂のない不便が解決される日もそう遠くないようだ。又、今夏までに合宿所兼男子

がとられるようになった。始はどうしても級内で男女の意見が対立し勝つようであったが、だんだんに互の理解が深まり、級で運動用具を買って共に楽しむとか、席間を男女混合にするなど級としてまとまっていこうとする努力が為されるようになった。そして学園祭のコーラス、展示等の協同作業を通して急速に各級のまとまりはできてきたようだった。今年初めての試みとして学園祭にとり入れられたスクエアダンスにおいても、案外そう踊る男女で校庭は所狭まりといった感さえたものだ。男子あり女子あり、まちがえては笑い、一つ完成しては喜びというように放課後の校庭を笑いし明い和やかな雰囲気であった。そしてスクエアダンスを試みた男子(特に三年生)から吾々にも踊れるのではないかと聞いたのがコチンである。駒場の伝統を男子にととの声が高く、運動会には三年生の男子、女子がコチンを踊り観客間でも悪い評判ではなかったようである。校内大会にしても男子は女子を、女子は男子を応援し、勝てば共に喜び合い負ければその悔みをほめたえたるという生々しい光景もみられた。このように共学制は悪い結果を生んでいないとはいえない。むしろ、互の面の方が多くない。しかし完全に共学なのは一年生だけであり二年生には一級三年生には三級の女子級があり、共学級も男子は女子の半数という状態であり、勉強するうえでも男子がもう少し多い方がという声が三年生の男子などにある。

共学制は新年度もとられると思うが、まだまだ解決されないこのような問題を残しており、よりよい意図がなされるよう望まれている。

今年の学園祭

二年、石崎勢津子

今年度の学園祭は九月二十三、四の両日に行われ例年異なった所が多かった。その一つは総てコンクール形式をやめて展示その他を行った事である。そのほか二、三年のホーム展示が少く感じられたが、一年は入学以来初めての学園祭とあって全ホームが展示(国が胸高の立休化という抽象的なもので取扱いにくい感じもあったが皆それぞれ特色を出していた)コーラス等に非常に眼切って参加していた。演劇は各ホーム毎の参加ではなく学年別及び体育科演劇部が各々一つずつを出しただけである。第一日は講堂がないので、豊島公会堂においてコーラス演劇等を行ったが豊島公会堂は少々遠すぎ、又午後四時からは次の催し物があるで非常に忙しくお昼休み時間なしにびっしりプログラムが組まれていたのには驚かされた。第二日は、本校内で展示が八時より一時まで、その後一時から四時まで今年初めての試みであるスクエアダンスを楽しんだ。これは前々からの願いであり、ホームルーム・講堂で討論された後に職員会議でも問題にされ条件付でスクエアダンスの実施に賛成したといういきさつもあり多数の声でなったものだけに暑い日射を受けた校庭は上級生下級生、男子・

女子も開かず踊って楽しむという人達でいっぱいになった。それから、フレイファイナールが閉止された事は多くの異議があった。このことは賛成その他で欲しいという要求はあったが、フレイファイナールをするには、手配が必要である。その他にもさしあたりあったので結局取止めた。この学園祭は会員参加が目的であったが、不参加者が多かったといえ、これは男女間の相互理解が高まることその他に非常な役立ったにちがいない。

駒場スポーツだより

二年 木村 朝子

今年の駒場におけるスポーツの祭典は数多くある。まず第一には、春に行なわれた陸上競技大会である。この大会は各ホームルーム対抗で今年のスポーツの祭典の幕を切つて喜した。

夏に入つては校内競技大会の初めとして、全校生徒の参加による水泳大会が小雨降る九月十五日華々しく行なわれた。この日も朝から雨が降つており大会中止かとも思われたが、生徒の強い希望と先生の御助力によつて立派に行なわれ、数多くの取組を取めた。その後の校内競技も女子のバレーボール大会とバスケットボール大会は学園祭に決闘戦が出来るよう。各ホームルームとも張り切つて行なつた。その後は運動会前に男子のバレーボール大会と女子のソフトボール大会が行なわれ、スポーツの秋にふさわしい、

駒場スポーツの秋である。十月二十三日には恒例の秋期大運動会が本校グラウンドに於て行なわれた。今年は、赤・白・黄・緑の四組に分かれて行なわれ、総合では赤組が優勝した。この運動会には今年から男子三年生もコロンをおどることになった。最後の卒業生と在校生によるコロンでは、グラウンド一杯になり毎年盛んに行なわれている。この一種目によつて伝統ある駒場を物語る。運動会が終ると、又すぐ校内大会の野球大会とサッカー大会である。この大会も十一月二十四日の男子のサッカー決勝で幕が下された。この外、校外においても国体、東京高校代表として陸上競技部や器械体育部なども活躍をして駒場高校の伝統と権威を維持した。来年も校内競技や校外競技においても華々しい活躍が期待されるであらう。



幼稚園便り

石田 喜美



駒場松校会の教育事業の一として前理事長倉先生初め松校会の皆様方の方ならぬ御尽力によつて新緑も美しい昭和三十年五月十一日に駒場幼稚園が誕生致しました。敷地は駒場高校のつぎの所で、ゆくりした土地に建坪八十坪、白壁の園舎でござい。庭の中央には池があり、奥が高く吹き上げて居ります。あひるや鴨の水鳥が泳ぎ廻り魚も群を手にしたり子供達を大喜びさせて居ります。園児が手をつないで閉ち樺の大木、壁までとくかくと覗き見る顔には伸る喜びが溢れて居ります。高校のお兄様お姉様からいいたわれ、殊に理想的な環境でござい。園長は古賀義星先生、教諭は松浦先生(駒場の四)、機長先生(高十)、石田(二十四)他に高崎先生(二十四)又新塾期からは津田先生(駒場の七)がおいでになります。昨年は園児五一名で満足致しましたが、何と申しましても伝統のある松校会の経営という事と併せて先生方の熱心な保育と同窓生皆様の御援助、お母様方の理解ある協力によつて日増に発展致し、今年度の入園式には園児数一〇〇名に増加し、お蔭様で、一歩一歩学園の道を進んで居ります。心身共に健やかに成長してゆく子供の発達のは

早さは全く驚異的なものでござい。母の懷から集団生活の第一歩をふみ出した白紙のお子さん達があつた私達の感激は又格別なもので、それだけ責任も重大でござい。いままでもなく小さい時の教育程大切でござい。好ましく生活態度を身につけさせ、自主独立の精神を養いたいのとつめて居ります。この一年間に他の幼稚園と同じ様なお誕生会、お遊戯会、バスでの遠足等の外に八月の初めには母校のプールに少し水を入れて、金魚つかみをして園長先生初め先生方と楽しく遊ばせて頂いたり、秋の母校の運動会にはかけっこをして皆に御褒美を頂いたり、ほんとに他では見られない和やかな雰囲気でございます。三月三日にはお雛祭りと一緒に駒場幼稚園の発表会がござい。古賀先生作詞、安西愛子先生作曲の「お母様方へ」が折でピアノも新らしいの間に合、ピアノ聞きも合せて安西先生の指導の下で理事もお母様も子供と一緒に盛心に返つて歌いました。ほんとに楽しいひと時でござい。三月十一日は第一回の卒業式で、長倉先生、理事の方々、お母様方にもいらして頂いて可愛いい式を致しました。一年間を振り返つて考えます時反省させられる数々でござい。幸い一回の事故もなく出席率も大へんよく折にふれ、それだけよい成長だけを見てくれる園児を見ます時は何物にもかえられない喜びでござい。幼稚園の生みの親の長倉先生の御信任は誠に御念でござい。ましたが新理事長長坂先生が色々お心にかけて下さいますし、園長先生も忙しい中を始終御指導頂き、理事の方々の不断のお力添えで子供達はほんとに仕合せでござい。

開園について色々御寄附下さいましに同窓生の方々に厚く御礼を申し上げます。どれもなくてはならない物で充分活用させて頂いて居ります。私達は微力を尽して駒場幼稚園をほんとうの幼児教育の場として守り育てゆきたいと思つて居ります。未だ日も浅く経済的にも思はれて居りませんので現状は不備の点が多うございませうが着々充実にてゆく計画にございませう。駒場幼稚園は松坂会員皆様の一人々々の力の集まつて出来た私達の幼稚園でございます。母校、同窓会とお考えになる時、どなたも忘れずに幼稚園も併せて頭の中で思い浮かべて下さいませ。そしてよりよき発展のために御指導と御鞭撻をお願ひ致します。どうぞそ近くの方はお手紙、お孫様方をおよこして下さいませ。御協力下さいませ。お序のせつ、又御上京の折にはぜひお立ち下さいませ。

尚情懐教育を怠るためにピアノ、グワイオリン、ヴァレの教室が放課後始められて居りましてそれぞれ専門の優秀な先生が熱心に指導されて居ります。四月からは絵画も始まります。御利用下さいませ。



松坂会 便り



卅年四月十四日 講演会 講師 東大教養学部教授福貴 直氏
同 廿四日 松坂会総会 高輪プリンスホテルにて、十時半開会、理事長先生のお話、来賓のお話(丸山文作先生) 事業報告、会計報告の後ダンスパーティー、又は室内、庭園にて観会、コロン、入場券二五〇円、入場者約千五百名、純益四万円余
五月十四日 講演会 講師 鎌倉円覚寺朝比奈宣賢
同 十六日 幼稚園開園式、丸山文作先生他多数同窓生参列
六月 三日 お茶会 御光寮にて、お席持 裏伊藤美子(五西)、戸川千代子(六中)、表前田あや子(五東)
同 九日 講演会 講師 丸岡秀子氏
七月 末日 松坂会便り(ハガキ)発送
八月 始と終 母校のプールに同窓生並にその家族を優待された一週開会
九月 十三日 母校の学園祭に合流してバザー開催、評議員、理事にて売店、食費、純益一万余円
十月 三日 理事長、長倉先生御転任、御餞別として五万円進呈(これは一時通常会計より出し、随時有志の御寄附を頂き会計へ戻す)
十月 十日 長坂先生御就任
同 廿一日 お茶会 御光寮にて、お席持 表永井たか(一)

四十、山口貞(同級)、裏伊藤美子(五西)
同 廿三日 母校運動会、評議員の方々の御助力を頂いて売店開催 純益四千余円
十二月 卅日 講演会 講師 千葉大教授頭月節氏
卅一年二月九日 講演会 講師 田辺繁二氏
三月十三日 母校卒業式
同 廿一日 幼稚園卒業式
同 卅日 講演会の代りに料理講習会、講師 関 操二氏
(一七西)

この他評議員会は、八、十二、一月を除いて毎月(今後は毎月十三日と決定)理事会は毎週一回集つて相談、事務を分担して致して居ります。

三十年度会計報告(経常費)	
収入之部	支出之部
前年度繰入金 92,848	備品費 45,150
前年度繰入金 377,200	消耗品費 12,765
雑収入 46,161	集金事務費 31,060
雑収入 41,000	集金事務費 87,640
預金利子 657	通信費 24,776
合計 557,866	雑費 14,130
	念品費 13,000
	備品費 6,050
	幼稚園費 180,000
	合計 442,572
	前年度繰入金 115,294
	本年度繰入金 327,278
	本年度繰入金 327,278
	本年度繰入金 327,278

30年度特別会計報告	
収入之部	支出之部
八千代信用金庫より借入金 382,000	松坂会預金 100,000
100,000	118,558
320,000	普通
合計 802,000	218,558
差引不足金	583,442

30年度特別会計報告	
収入之部	支出之部
前年度繰入金 1,176,933	幼稚園費 1,942,670
前年度繰入金 180,000	雑費 236,336
終身会費 864,700	雑費 57,660
預金利子 25,790	雑費 201,600
預金利子 820,000	雑費 3,690
幼稚園費 208,514	雑費 37,704
幼稚園費 12,600	雑費 44,181
合計 3,108,537	雑費 21,635
差引残高 118,558	雑費 3,450
	雑費 50,000
	雑費 60,000
	雑費 21,053
	雑費 300,000
	雑費 10,000
	合計 2,989,979

(分納者も含む) (三・三・三一日現在)

— 20 —

— 21 —

二五西 二二 春日、田中、蟻川、平井、高橋、根本
二五南 二五 丸茂、新木
二六東 二二 田中、村川、橋本
二六中 二二 万利乃、小田代、井山、野村、中山、山口
二六西 一七 太神、吉田、淺沼、野崎
二六南 一七 萬多村、水田、小笠原、堀内、三上、大原、池田
二七東 一四 林、永島、饒田、前田、小川、矢野、阿部
二七中 二二 松井、千秋、山角
二七西 三三 奥田
二八東 一九 北村、松沢、土屋、庄司、木村、永沢、山田
二八中 一〇 三好、押木、平賀
二八西 一六 河島、早川、井上、平井、塚本、高野、奥田、伊藤
二八南 二四 堀川、前田、松島、尾ヶ井、新木、竹村、相沢、石崎
二八中 二二 長谷川、長谷川、高木、深田、武登
二八西 二二 野口、吉村、堀内、野村、伊藤、高村
二九東 二五 今村、青山、田中、坂井、木村、安東、永池、西川
二九中 二五 倉林、大貫
二九西 一五 小川、森、白井、柴田、鈴木、大井
二九南 二二 井沢、富山
三〇東 八 市東、金木、坂本、舟塚、最上、内田、高橋
三〇中 九 小侯
三〇西 六 小侯

三〇南 二〇 野間、本山、河東、村上、川頭、橋本、城代
三〇東 一六 佐々木、佐々木、佐々木、牧田、流石、新井、加藤、小笠、原、渡松、松本
三一東 一八 築、広井、伊藤
三一西 九 裏辻、加納
三一南 二二 小口、松田、西尾、清水、吉賀、一ツ松、長尾、小野
三一東 一六 瀬川、額田、日置、中桐、小川、藤村、三浦、塚田、酒井、森、榎
三二東 一三 曾田、倉嶋、内田、富岡、金野、高橋、吉川、玉木、伊池、知
三二西 七 魚岡、安藤、石田、木村、宇高
三二南 九 斎藤、志賀、西沢、武登、石原
三二中 一三 安戸、望月、橋川、中野、高橋、渡辺、角田、佐藤、大津、岩本、久留宮、安部
三三東 一七 高城、下山、浅井
三三西 一七 福田、筒井、中野
三三南 一三 竹内、小根、小林、山中、田中、小山、鎌田、清野、佐藤、桂子、堺、野野、岡本、丹治、横屋、佐藤、上妻、杉山
三四東 一三 入沢、日野、水、常深
三四中 一九 森、江部、関山、高木、近藤、八十島
三四西 一七 小野、浜野、神崎、上山、岡田、鈴木、服部、小竹、立川、堀沼、坂部、上崎
三九南 一六 小田代、井上、萩原
三九中 一四 今村
三九西 一六 中村、徳水、山田、広田、斎藤、北川、関、久重、岡部、赤井
四〇東 一八 成田、玉田、小林、五十嵐、池田、栗原、石川、市橋、尾形、清水、諸見、加藤、山崎、小田、大立目、山中、安田、加藤、成田
四〇中 一六 松浦、西宮、安部
四〇西 一六 志田、磯原、浅野、島田、岩波、柴田、今村、小笠、中島、新藤、佐々、沼田、上田、山本、諸橋、小岡
四一東 一〇 鈴木、上沼、沼田
四一西 一三 吉田、嶋池、関戸、山寺、波多野、塚家、関、伊賀
四二東 一六 岡島、中島、御所、村林、斎藤、伊藤
四二西 一四 中井、八木、川北、吉田、八田、大和、岡田、箕輪、鈴木
四三東 一六 加倉、斎藤、宇留、浅見、溝口、松井、岡、横川、中川、鈴木、宇留、竹重、高橋、天野、大貫、吉沢、佐藤
四三西 一七 大貫、吉沢、佐藤
四四東 一五 島田、矢代、深見、藤田、福田

三五中 二二 前田、古川、夏目、島津、村上、河瀬
三五西 二二 岩田、上野、田中、横山、杉山、荒井、四分一
三五南 一五 小森、倉、藤崎、田島、松下、吉川、石崎
三六東 一九 池田、高橋、鈴木、九兵衛、吉田、斎藤、森
三六中 一四 北沢、三枝、小林、松村、小西、丸山、佐藤、原、子、安高、藤原、佐藤、千代、山名
三六西 一五 中村、藤崎、二宮、五十嵐、小川、安藤、山口、野田、須賀、野田、青葉
三六南 一五 野田、須賀、野田、青葉
三六北 九 岸本、武藤、井上、大場
三七東 一三 河野、矢部、松家、伊藤、橋本、豊川、薄場、市原
三七中 二二 野々山、田中、山田、逸見、大森、森田、大井、武橋、上田、安東、藤野
三七西 一〇 吉橋、山北、阿部、武田、立岩、玉木、島村
三七南 一五 佐山、秋沢、松井、藤田、小松
三七北 一七 三好、飛田、相原
三八東 一六 柴田、福田、境野、中島、西貝、松浦
三八中 一八 矢野、水口
三八西 一四 滋賀、木平、野本、石崎
三八南 一七 小島、三宅、熊谷、雨宮、米村、佐藤
三八北 九 山口、森、安達、加藤、日高
三九東 九 小沢、佐藤、渡辺、藤岡、土井
三九中 二二 松本、加賀、岡本、畑野、鈴木、名取、赤沢

三九南 二〇 野間、本山、河東、村上、川頭、橋本、城代
三九東 一六 佐々木、佐々木、佐々木、牧田、流石、新井、加藤、小笠、原、渡松、松本
四〇東 一八 築、広井、伊藤
四〇西 九 裏辻、加納
四〇南 二二 小口、松田、西尾、清水、吉賀、一ツ松、長尾、小野
四〇東 一六 瀬川、額田、日置、中桐、小川、藤村、三浦、塚田、酒井、森、榎
四一東 一三 曾田、倉嶋、内田、富岡、金野、高橋、吉川、玉木、伊池、知
四一西 七 魚岡、安藤、石田、木村、宇高
四一南 九 斎藤、志賀、西沢、武登、石原
四一中 一三 安戸、望月、橋川、中野、高橋、渡辺、角田、佐藤、大津、岩本、久留宮、安部
四二東 一七 高城、下山、浅井
四二西 一七 福田、筒井、中野
四二南 一三 竹内、小根、小林、山中、田中、小山、鎌田、清野、佐藤、桂子、堺、野野、岡本、丹治、横屋、佐藤、上妻、杉山
四三東 一三 入沢、日野、水、常深
四三中 一九 森、江部、関山、高木、近藤、八十島
四三西 一七 小野、浜野、神崎、上山、岡田、鈴木、服部、小竹、立川、堀沼、坂部、上崎
四四南 一六 小田代、井上、萩原
四四中 一四 今村
四四西 一六 中村、徳水、山田、広田、斎藤、北川、関、久重、岡部、赤井
四五東 一八 成田、玉田、小林、五十嵐、池田、栗原、石川、市橋、尾形、清水、諸見、加藤、山崎、小田、大立目、山中、安田、加藤、成田
四五中 一六 松浦、西宮、安部
四五西 一六 志田、磯原、浅野、島田、岩波、柴田、今村、小笠、中島、新藤、佐々、沼田、上田、山本、諸橋、小岡
四六東 一〇 鈴木、上沼、沼田
四六西 一三 吉田、嶋池、関戸、山寺、波多野、塚家、関、伊賀
四七東 一六 岡島、中島、御所、村林、斎藤、伊藤
四七西 一四 中井、八木、川北、吉田、八田、大和、岡田、箕輪、鈴木
四八東 一六 加倉、斎藤、宇留、浅見、溝口、松井、岡、横川、中川、鈴木、宇留、竹重、高橋、天野、大貫、吉沢、佐藤
四八西 一七 大貫、吉沢、佐藤
四九東 一五 島田、矢代、深見、藤田、福田

四三東 五 広瀬 窪川
四三西 八 大久保 木津 高田 白鳥 立花 村田
四三南 九 百田 中根 堀 岡島 大伴
四三東 一六 木村 瀬尾 大口 西村 堀尾 斎藤 中村
四三西 八 岩津 高山 高瀬 三浦 金子 金森 金沢
四三東 一四 野中 吉田 田窪 遠藤
四三西 七 東山 山本 米本 北村
四三南 九 吉村 斎藤 中島 竹内 高橋 菊地 山下
四三東 六 佐藤 清水 石井 村林
四三南 一 ナシ
四三東 一 奥山 相馬 松田
四三西 三 山本 橋本
四三南 三 山本 橋本
三女子高A ナシ
三女子高B 一
駒高 二回一ホーム(二〇色) 増水 油田 上原 奈良 赤
二二(一) 堀 西沢 矢島 無重 牧野
二二(二) 八木 北沢 氏家 瀬戸 秋山 浅見
二二(三) 根 岩田
二二(四) 根 鈴木 佐々木 斎藤 大倉根

二一六(一) 田代 池田 金井 山元 上野
二一七(二) 小秋 森島 羽生 小倉 沼倉 今井
三二(一) 吉本 宇野 西
三二(二) 山根 松本 鈴木 山口 下村 汐崎
三二(三) 中野 酒家 剣持 三沢 糸
三二(四) 小栗 池田 坂本 勝山 北村
三二(五) 品川 舟崎 柳 吉田 綾井 長沢
四一(一) 飛田 信田 井上
四一(二) 志田 小杉 中島 中野 西山 幸山
四一(三) 山本 橋本
四一(四) 山本 橋本 大 橋本
四一(五) 吉岡 竹村 渡辺 村岡 田中 田尻
四一(六) 安藤 佐藤 長田 別府
四一(七) 高橋 小野 池田 比田
四一(八) 毛愛 奥山 木内 宇田川 佐野
四一(九) 奥山 武蔵 石原
五二(一) 内藤 折原 木村 沢野 野村

五十四(一) 野口
五十五(二) 平田 鈴木 瀬尾
五十六(三) 豊島 小本倉
五十七(四) 久保
五十八(五) 川又 藤田
五十九(六) 佐藤 小野 長岡
六十(七) 石尾 高橋 米山 伊藤 山中
六十一(八) 秋間 樋渡 浅葉 今井
六十二(九) 富田 荒木
六十三(一〇) 永島
六十四(一一) 瀬尾 和田 辻本 大田 北村 津田
六十五(一二) 桐 藤本 大竹 山本
六十六(一三) 井上 岡村 浅生 尾上 大橋 川口
六十七(一四) 浦生 菊池 栗田 近藤 斎藤 神作
六十八(一五) 土蔵 栗洲 村越 吉川 古田 玉岡
六十九(一六) 藤田 長谷川 中村 田中 岩田 久保
七十(一七) 大橋 小林
七十一(一八) 金子
七十二(一九) 鈴木 北田 高島
七十三(二〇) 野村 原 伊藤 大橋 定本 力野
七十四(二一) 秋山 堀 木下 服部 黒川 志甫
七十五(二二) 大宅 戸石 松島 小島 野口 孝小
谷 小久保 藤江 小田 足立 小沢

工藤 羽生 井上 広田 大平 根木
七十六(二) 腰山 倉田 菅田
七十七(三) 村松 吉川
七十八(四) 大場 斎藤 小川 阿部 立岡
七十九(五) 小野 山口
八十(六) 秋元 朝倉 安藤 井口 伊倉 石塚 井田 井上
八十一(七) 今村 内山 生内 大森 織田 小崎 加藤 河地
八十二(八) 久保田 佐藤 正川 藤本 鈴木 高橋 田中
八十三(九) 中島 和 中島 節 斎藤 古谷 北條 前川 牧
八十四(一〇) 牧野 松下 三谷 富内 本橋 山下 山田 結城
八十五(一一) 依田 吉野 飯田
八十六(一二) 飯島 池田 植木 遠藤 小島 中根 安田 市川
八十七(一三) 内田 太田 大前 笠原 川村 桑田 清水 野見山
八十八(一四) 堀 松田 松本 村田 柳瀬 吉田 萩原 白田
八十九(一五) 有賀 飯沢 大塚 岡野 小秋 金野 竹之内 土屋
九十(一六) 徳永 中川 中村 沢崎 早川 夢田 平田 堀口
九十一(一七) 山崎 渡辺 荒木 泉本 板橋 遠藤 佐野 柴田
九十二(一八) 外山 永原 野口 野崎 本田 村岡 村上
九十三(一九) 駒八ノ四 和泉田 市川 猪熊 今井 大村 甲斐 笠原
九十四(二〇) 藤田 川島 河原 久谷 光明 近藤 佐藤 塩津
九十五(二一) 下川 鈴木 殿村 二万 馬杉 渡合 南山 崎
九十六(二二) 斎 安斎 大川 大野 岡 亀田 小久保 財津
九十七(二三) 佐藤 庄田 瀬谷 高橋 永井 根岸 藤原 藤本
九十八(二四) 吉田 増井 水谷 宮山 榎内 角創 宗

米

安田火災海上

受け出された時の失責をすぐお支払いする臨時生計費保険

安田生命

取締役会長 安田 一
取締役社長 竹村吉右衛門

東京都中央区日本橋小網町2の2
電話 兜町 (67) 代表 3111 番

八千代信用金庫

預金 融資

理事長 新納 太郎
渋谷支店長 高橋 勇

渋谷支店
渋谷区上通3-56 電話(46) 1533 1534 2533 2506

本店
渋谷区代々木山谷町 249

支店
原町田・幡ヶ谷・笹塚・高円寺・烏山
祖師ヶ谷大蔵・府中・大和・淵の辺

住宅建築の御用命
御相談に応じます

桂建設株式会社

取締役社長 (一級建築士) 武信 正治

本社 東京都新宿区原町三丁目六一番地
電話東京34八〇七六・三五一〇番
出張所 千葉東館山市館山七〇六番地
電話館山 六一八番

病室完備
入院随時

(川南 豊島圭子)

豊島産婦人科

東京都杉並区西荻窪一ノ十一
電話荻窪 (39) 〇九〇一
(西荻窪駅南側御膳所)

入院分娩・手術應需

産科 婦人科 **岩崎医院**

院長 岩崎 寛一

東京区豊島区椎名町八丁目三九四番地
電話 (落色) 二一三三九
(八南 岩崎 郷)

守屋耳鼻咽喉科

〈診料時間〉 午前十一時半より
午後七時半まで

健康保険取扱います

守屋 孝子

(三五五)
東京都中央区銀座東一の六
電話(56)三八二八

顧問 院長 額田 田 焜 晉

額田内科病院

千代田区神田小川町三丁目二八
中央大学正門前電(20)〇九八九

財団法人 額田研究所 **サナトリウム**

千葉市稲毛海岸 電検見川二六
健康保険取扱 結核予防法指定
(三三東 額田久七)

伊藤病院
附屬甲狀線病研究所

東京都目黒区下目黒四ノ八九〇
(二三東) 伊藤 幸子
電話大崎(49)〇八九五番

耳鼻咽喉
氣管食道
科

院長 黒須巳之吉

湯河原 神奈川縣湯河原驛前
電話湯河原八〇番

(一五中)黑須巴

お昼食に うどん
そばを
校内の食堂で御利用下
さい
TEL(46)5977
山口屋

今度皆様の御要望により、
パンもパラピン袋1ヶ包装
と致しました。

皆様の
かどやパン店
(校外出張日) 月・水・金
井の頭線東大前
TEL (46) 5824

孝
 袋
 之
 丁
 日
 之
 水
 印
 五
 四
 六

染物一般（会員に限り御便宜を計ります）
京染
呉服
染
吉
世田谷区若林五八五
（一一西）吉田彌生

喫茶食堂
生菓子
名糖乳製品
アイスクリーム
一幸
東大前駅前
TEL
(46)6015

銀座木村屋のパン
たかのベーカリー

駒場バス通り
松見坂上バス停留所前
電話 (46) 6058番

預金・金銭信託貸付信託

三菱信託銀行

澁谷支店

渋谷区上通二丁目四一番地
電話青山(40)六一七一・五

新鮮な感触が
いつまでも

〈縮まず・強さや感触が変わらず
しわにならず・色が落ちない〉

東洋紡の
アブコセット
化繊織物

新しい女性

阿部知二・羽仁説子・石垣綾子

貴女の知性は花
講座・全五巻
三月下旬より發賣

- ① 女性の危機
- ② 女性の戀愛
- ③ 女性の結婚
- ④ 女性の自由
- ⑤ 女性の魅力

この講座は新しい女性として知性的に美しく、のびのびと個性をのびして生きようとする女性のための人生読本です。

B6 判装綴本 一八〇円

東京神田區河合下

河出書房

(二五〇四 駒三)

消 息 欄



支 部 便 り

札幌支部便り 三二 西 幸田 清子

同窓生の皆様御機嫌よくお過ごしでしょうか。内地では、はばばつ梅の便りも聞かれます。此の頃、当地では只今、スキー、スケート、溜のシーズンで御座います。同窓会札幌支部も、盛況で本年初めての同窓会を一月三十日、雪の美しい山々、下にはスケートリンクを眺めつつ思いは尽きぬ母の事、先生方の御消息、友の諸君の楽しい平日を過ごし、又昨午秋には小樽の近郊朝里温泉のお湯に浸り行く秋の一日を愉快に過ごしました。常に支部の活動に尽力下さいます阿村、昨年より病気で御機嫌中で御座いましたが大変調子になられたので一同喜んで居ります。昨午は岩野(二四中)を東京へ御送り致し、折に池田(三三中)を御迎え致しました。同窓生の皆様御来札の折には御報せ下さいませ。

市川支部便り 一六 東 小柳 芳枝

昨年五月二十五日、小柳宅にて二年ぶりの会を開いた。丁度そ

藤沢支部便り 二二 中 小川 順子

の少し前に、丸山丈作先生がトキワ松学園を御勇退になった由新聞で拝見したので、市川海も盛りの折、一日の御清遊をお願いした。八十歳の御高齡とも思われぬ元気で、遠い電車道を一人でお出かけ下さった。職後、トキワ松学園の復興に全力を傾けられ、十年後の今日、小中高校生徒千名を数え、鉄筋の木建築も成った。その間の御苦心談を一同感銘深く伺い、功成り名遂げて先生の御生念、御幸福にと祈上げた。出席は、御欄よりはせ参ぜられた。先生御担任の石田初、市川在住者十二名、それに先生ゆかりの教子である第六高女の卒業生三名も加わられた。

一月廿一日正午より武市(五西)にて新年支部会を開催、どんなに寒い天候の為、いつも御出席の多い十四以上の方々、誰方も欠席で、一寸薄いお正月の会でした。でも足踏には今井先生が御見えになり、少しもお変りない御元気な御様子で、只今御研究中の市川分校の模字など見せて頂き、久方ぶりの園遊の時間と言った一場面もございました。色々のお話を時を過ごし、最後は各地、前山の御骨折の福引で小さいお子様方にも喜んで頂き散会致しました。

静岡支部便り 二〇 南 原 栄子

春立つとは名のみで、朝夕のお寒さはひとしおでございますが、皆様御機嫌如何でいらっしゃるでしょうか。当静岡市を中心にして二十名余り、県下全体では五十名近くの会員がいらっしゃる事が判りましたので、昨秋皆様と御相談致しまして、静岡支部を再構成しますこととなり、第一歩を踏み出しました。昨年十月に常会の集りを致しまして、十三名集り、心から支部の誕生を喜び合い、今年に入り早速春の集会を致しました。趣、一回の岩田から四十五回の西村迄十五名の参加者があり、老いも若きも、なつかしい第三時代の想出話に時の移るも忘れて興じました。之から度々こういう集りをと会員一同の希望でございます。誕生まだ日の浅い当支部を皆様の御指導、支部会員の友情とによりまして益々発展させたいものと願ひして居ります。

名古屋支部便り 二九 中 梶取 規子

春とは名のみで未だお寒い事でございます。御一統にはお元気で同窓会のおおし下され厚く御礼申し上げます。当支部一同相変らず春五月下旬、秋十月下旬、二回中日クラブにて同窓会を開催し、お元な徳永先生をお迎えして楽しいおしゃべりの一日を過ごします。二十五名位いつもお集り頂き、岐阜在住の方々もお見え下さり仲々盛況でございます。三十年春からく支部長とし

長野支部便り 六 西 小池 一枝

てお骨頂頂きました。一八中平松雪子東京御来札の御お別れ致し、今同より二四中平松雪子に支部長をお願い致しました。故、誠に御手数な方ら今後御連絡の事がございましたら名古屋市昭和区板井町二の二五松越子へお知らせ下さいませ。只今幹事は梶取(二九中)内田(二〇)が担当して居ります。不行届の点感からお許下さい。

信州も本年は何年ぶりとかの大雪に見舞われまして春の訪れが心待ちにたれど御座います。こちらは皆親類社会に御活躍の方が多く暖かくなりました。池田先生、堀内先生を御招待申上げて楽しい一日を過ごした。限いもの予定して居ります。食鳥(八中)、中村(二五中)、北沢(二八中)、石垣(三〇西)、小池(三三西)、藤井(四〇東)、守谷(四〇西)、小池(六西)、(藤井)御沢(三四中)、上田(宮坂(三四中))

京都支部便り 三三 西 堀田 文枝

同窓生の皆様、御機嫌よく御過ごしいらっしゃるでしょうか。当地一同も相変らず時世の流れに沿って懐しく日を送り、通々居ります。昨午度は二月十九日に春の御集りを、六月廿六日九東久保橋御入浴を機会に本部の御話を伺う会を開かせて頂きました。いつもの事ながら一同東京御在住の方々がお集り下さいます。

秋の不慮での御集りで長倉校長先生指図の御話を承り、駒場の為に進取の手腕家の先生を御送りして誠に名残り惜しく、当地にもおなじみ深き先生の為に会合した一同から名工清水六和氏作の五色盃を贈呈いたしました。次に御迎えした長坂先生は未だ存じ上げませんが、御南下の御序に当地へも御立寄り頂きますよう願ひ上げます。

関西支部便り

一 中 西村 まさ

戦争の為の空白時代から支部が復活を致しましてから五六年の歩みを重ねてまいりました。大阪、神戸、阪神間、会場を巡わって春秋の二回の他に時には新年会も致しまして、いつも四五人のお集りになりましたので会場にも苦心をいたします。桃開れ時代の第三そんな時代が有つたらし、から駒場のバリエーションで一年のあたりを忘れて女学生の気分にかえり一日を楽しく通して居ります。先頃六甲の会の御は偶然遠田先生当地御滞在で会場をお訪ね下さいまして思いがけず御元氣なお姿に接し大歓迎申し上げます。長倉前校長御西下の折には会を開き親しく母校の御話を承り最後は混乱時今日の隆盛を見るまでの御高貴を感謝致しました。御転任を聞き御名残りを惜むと共に新校長を御迎えして母校の益々御発展を御祈り致します。

高松支部便り

三 中 西岡千代子

に御知らせ願す。すぐ集合して歓迎会をさせて頂きます。

久ヶ原もより会

一 東 熱田 芳子

十月廿四日、秋の例会を久ヶ原会館にて初めてご参加の一〇東野田、遠来のお客分の一〇中矢田、富沢をお迎えして十六名のお集り。心暖まる数々のご談話に應じ、関一、緒の諸曲の余興で一層楽しさを増して、一同ウットリとばかり、散会の時刻も忘れぬ程でございます。

自由ヶ丘最寄会

二 五 東 石橋千鶴子

発足以来五年、毎年何人かの新卒業生を迎えて賑やかに、親子二代会員の方も幾組あり、発展の一路を辿っております。四西草川を先頭に駒七の方迄総勢三十六名、最初は人数も少なく個人のお宅で、或は奥沢最寄会と合同で時々会合を楽しみましたが、最近二年は色々の都合で集りもなく、この五、六月頃に新卒業生を歓迎する町内適当の場所で開催予定にしておりますから、皆様奮って御出席下さいませ。

各級便り



昨春思いがけなく、駒場高校の修学旅行の方々を四国にお迎え致し、ちっとも昔とお変わらない石川先生はじめ諸先生にお目にかかる事が出来た事、唯々嬉しく存じました。それをよい機会に、高松支部を結成しましたが間もなく、間瀬淳子（二六西）東京へ御転任、淋しくなりました。駒本信子（三七東）東京からお迎え致し、久しぶりで、一月十五日私宅で、お集りを致しました。佐藤雅子（三四西）、川瀬美智子（三四南）、森根安子（三五中）、橋本信子（二七東）方お集り下さいまして、先生方のお噂さ、学校の事など昔話に本音に達しい半日を過す事が出来ましたが、四月には又飯田の佐藤方（ベビキ）の予定で一同お集りを楽しみにお別れ致しました。

福岡支部便り

二 六 南 堀内富美子

現会員は市四、二十四名、近郊六名にて、昨年は一回、本年も過日新年会を開き、いつも十数名集合して、相変らず心暖まる時を過しました。七東高橋、七中宮武、八西坂井、一〇山口、一〇西藤野、一〇西里村、同安藤、同伊丹、二八八木、一六西内田、一六東開橋、一六北条、二二東川口、二二南河合、二六南内田、二八南山口、三四西高橋、同河西、同坂田、三六西小川、同藤岡、同藤崎、三七西佐、同千葉、三八中市川、三八中村、三九東藤岡、他に和田、大江の方々。県下に御住居で未だ御連絡のない方々、こちらに御旅行の方は支部長、福岡市島崎三ノ一六六高橋千代子

一回甲級

三 宅 エツ

静岡の岩田はる並に在東京の田中正、権藤、田中よね、金子、古瀬、近藤、吉水、三宅等は年に三回級会を開き、同元気で意心に立かえて一日を楽しく過します。吉野長も終戦後十年元で御面会いたし早速昨春秋の級会には参加されました。関一、蒲地も時折東京されます。長尾、鶴田も御健在。堀口、安川、田中トキ、松本、芝藤の御消息不明御存知の方は御知らせ下さいませ。

二回甲級

荒 木 憲

終戦以来消息不明の方々、又逝去されました。級友の少なくなりましては、尚に心細い事でございます。此度お返事のなかつた方もありましたが、お目出たくも金婚式をおすませになりました方、間近き方は、三宅、上村、鈴鹿、浅田、御祝福申し上げます。鈴木は九州にて御健在、島崎は金沢より時々御上京になります。在京の中村、小崎、高橋、三宅、上村、吉田、浅田とは年二回の級会で元氣な顔合せを致して居ります。

二回乙級

谷 口 安子

なつかしい麻布の校門を出ては五十年にもなりますか、今更驚いて居ます。家産の人となりましてはお互に語り合う事もあり難く過して来ましたが、追々年ふり家事も次代の者にゆずり此頃は少し楽になりました。今は春秋二回の級会が何よりの楽しみです。東京者は元より千葉、静岡、神岡、から御出席せられ久闊を温め

お互に老いし身をすり合い、思ひの丈を語りあひ、楽しい一日です。春秋の外思ひ出しては御都合宜しい御宅にて一寸最密の集な集りをして楽しんで居ります。年取りましても皆様大御健康にて嬉し事です。

野田御主人様久しく御病床に居られますので誠に御安し申上げて居ます。どうか早く御快方に向わせられます様子を祈ります。近々小浦が東京へ御帰りになります由にて一同喜びお待ちして居ります。

三回東級

高橋 幾子

級の皆様へ此度は限られたる紙面で極簡単な御便りしか御載せ出来ませんでした事を御詫申上ります。石原には一月廿六日高血圧の御退去、此に連んで御病み申上ります。今廿八日の御孫様も夫々御居方で平和に御暮しです。星野分家へ鎌倉で閑静な御生活を御楽しみの由、岡谷近頃めつきり御丈夫になられ御孫様方のおき御慶び、渡辺御安くなり御元氣、御息々々御壯健で御事を友とされて毎日快き限りと存じます。中川昨年十月御母様が八十五の御高齢で御仙逝なされましたが御自身は至って御元氣、長谷川電話で御元氣なお声を聞かせて下さいましたが、神経痛に御悩むとか御大切に、太田京都風土桂屋高に程近く静かな田園生活を御楽しみ、岩田千葉から福原へ御転居益々御壮健で二十の頃も越えられたの嬉しい御言葉で、小山四人のお孫様相手に御丈夫にお暮しの由、高橋御孫で丈夫なのがせめてのとりえ、世間並の御婆ちゃんて平凡に生きて居ります。

です。山田、塩崎、神田、鈴木、岩崎、大江、中島、澤田、在東京の方々皆元氣で集會の集を楽しみに、或方々は温泉旅行で、お芝居物に、家事の運営、孫の世話と老いて尚楽しみを持て、毎度の集に話の花が咲きます。

四回東級

倉本 富久

昨春秋御集りを致しました時に岡田、岡田、清家、吉田、矢野、宮崎、室町、川崎、藤葉、倉本が出席、殊に藤葉は長らく朝暮に御在仕後引揚げていらして始めての御出ましで誠に楽しい一日でございました。今後は年三回級会を期々という御約束を致し黒沢に代り岡田、倉本が幹事を御引受けす事になりましたから異動その他何人へ御通知下さいませ。川村、ヘマの御消息御存じの方は何卒御知らせ下さい。

四回中級

阿部 堀

昨年十一月廿六日浦生先生の級主任でいらした組の連合級会で、先生の喜寿のお祝と、御路から御帰京の歡迎の会合を致しました。集ったのは、関口、栗屋、長島、馬渡、阿部、堀の六人。その以前の春、片瀬の磯川御宅で級会には、七人出席、関口は児童福祉など社会事業に御活躍、馬渡、長島は、お元氣で御子様お孫様との楽しい御生活、栗屋は最近、末の御令息様が結婚なさって御安心、磯川はお花の先生で若い人との接吻を楽しまれ、島山、西山は録音にてお暮り、成田は昨年十一月母上様御永眠、伊藤先生は世の手帳に綴えられて円熟して御静養、矢野は遠

三回中級

駒井 トシ

卒業後五十年の事若い頃は考もせぬ事が早くも今年で一同驚く次第です。級友早世の方多く暫無事でしたが三年藤岡御逝去後一同健在。一月二五日祭の御世話を新年会を熱心に泊旅行七名で幸好天気で楽しく皆様に幾度も御出の処、私には寒極も梅園も珍しくよき思い出でした。毎回御出席の坂西御父席は残念、恵れた方は二泊、国府津へ御用の井上と堀井、私は心を残してお先に、途中鶴沼の御谷へ、幸御在宅で結構な御もてなしで小級会の愚致しました。御二人御病の方は相谷、千葉、中村で、神谷は毎土曜に御一緒に御静養、千葉は昨夏御指で敦別市で御子息御経営の農園に、一ヶ月の御予定で御出発、中村はいつも御欠席、坂西御孫様昨春春大を奏晴しき御成就で御卒業、一番下の御孫様いとも御可愛らしく、御孫様では第一位と御祝申上ります。

三回西級

岩崎 代澤田

森川先生、お歸八十をお越しになりましたも差々お元氣で、級会には御夫妻で御出席下さいます。昔に変わらぬ御調子を頂きますのが有難く嬉しい限りです。吉田先生、森川先生と同御年輩位ですが大へんにお若く私共の方が髪が白いのです。両先生の御健康を御祈り致します。丸沢、御主人様長年中国に御残留留學のため御職身なさいましたが、一昨年御帰国、初子様始め御一統様の御喜の程を拝察致します。横山、お嬢様、前田の御孫様十五歳の御身でパイオリン御修業の為渡仏、晴れの御帰朝をお楽しみに御待ち

くからしく同級会の事業に御協力感謝です。岡田、田中御姉も御元氣。阿部は青山学院中等部の先生なる未婚の婦が定まって安心、堀は昨年一月と十月、鼻出血を患いました只今は元氣。

五回東級

渡辺 さわ

田島大阪で御孫様相手に平和な御生活、ト部家親裁判所調停委員を拝命されて十年目の事、定めし幾多の方々に光明を御与えになった事でしょう。今後共どうぞ御奉仕願います。尾本立正安成会支部長として御働きます。戸枝御長寿の御老母様百歳で一月に御水脈、三月には御納骨の御土京の由御待ち致し、吉田遠くフザルで御子様、安四人、男二、御孫様（男七、女三）大家族が一所に住れ日本へも一度来たい御希望の由せざびとうぞ。伊東御病弱の御方に感謝の御生活でただ御孫様方の御成長を頼もしく見つめて御暮の由、宮本（鎌倉）、吉川（赤松）、相沢（龍門寺）、山本（吉祥寺）、湯沢（下野）、古崎（下野）、高橋（御明町）、皆御元氣です。御常連簡單で申訳ありません筑土御孫様御入院、中川上（御江）に御元氣で残念なのは西田、永井、丹羽三氏の御他界です。

五回中級

門司 はる

卒業の三十八名の中死亡二十名、住所不明六名、現在十名の在京の方は六名という誠に小人数の級となりました。野坂つとと平塚にてお元氣、唯結町に御主人亡き後手帳に、温泉園芸等御趣味の生活、岡村長年お住いの福岡から昨年末御長男の任地二原

市に御転居 太田御主人様と諸所御旅行 又長閑等楽しい御生活、お孫様今春慶大御入学お喜び申し上げます。幸野御長男、洞海濱事務所長に御挨拶、小倉にお住居、高木長野東京山形の御長女、許に三人のお孫様と楽しく、白石今年一月初台から赤坂、御転居、原は昨年十月、島田は一月廿日御主人様御逝去、謹んでお悔み申し上げます。

五回西級

小泉 初子

東京附近の者は度々教会で集ります。馳せ参する面々、沖、伊藤、志水、山崎、山田、永井、中村、土屋、小泉、昨秋、鎌倉中村邸教会には何十年振りに佐藤御出陣、岡氏は代々木幼稚園々々さん、中村は御主人の健康の為島岡本寮を一時閉鎖され鎌倉本部にて今は癒されました。山中心臓が悪く外出されず、藤井会津にてお元氣、加納、大庭は太勢のお孫様にこれお元氣の由、義田よりお病気の事、河合茶事道師匠として楽しくお過ごし、丹羽二三年前御転居の由、皆老人となり何かしら故障はありますが、動ける内に同志相より旅行をしたり昔をしのび銀屏の里、笹の雪をたすね豆腐料理に取組をうなど楽しんでおります。大庭は三年前に御主人御他界、小泉も主人を失い四年目です。

六回東級

牧野 甲子

戦争中赤司を失い戦後六久保を失いました。廿九年八月六日に

現在在東京の後、草刈、寺野、坪地、清水、連山、戸川、河口、野老、松波、弘岡方初め島井、奥ます元氣に幸福に暮して居ります。田嶋、堀合、相馬、田中力御上京の節は御連絡下さい。

六回西級

中田 池内

久々の消息欄ですが字に制限ある詳しく書けませんのは残念です。四十七年前卅一名の級友もは死に、住所不明の方の為に半数以下になりました。又牧野を失いました。坂本御子息昨年東京都庁へ御就職、鈴木君校長の御長男密にて御転居、鈴木君は氣楽に御光臨、郷御子息御転居として益々御活躍、橋本先生をして居れる御次男御三男と御親戚よくお過ごし、田代昨秋御子息御結婚、中島銀行御勤務の御長男と御同居、右お四方は目下お緑蔭物色中、浜地昨春四十五周年の集いに御上京、小池晴折御上京の御様子、堀井御近況判り兼ねますが御無事と拝察、中田母八十七歳の春を迎え今向元氣で居ります。池内、長男と共に起居健在です。

七回東級

小林 マサ

横関、十四回西の三島先年アメリカ御旅行の際お逢いになりお元氣の御様子をお光榮での講演会へ伺う。竹橋、井上お丈夫でお勤め、伊勢小林赤子御主人水々の御病氣も手厚い御看護の為御快癒此上共に御大切に。町村御病氣一時御案じましたが御快方癒しき。高島学校を御退職、謡曲に御転進、三好御主人一昨

は恩師武居先生をお見送り致しました。彌文の壽を二回おとどけたり、組一同で心ばかりでしたお菓子をお送りして御病中を御見舞出来たのは私共の慰めです。其他は一同元氣に多くは御孫様の御世話、細川は立派な高等学長、松崎はコンビニア洋菓学院として楽しくお暮らしの御様子です。昨年春の同窓会には兄君の御逝去で御上京中の山口も出席され、日本館での卒四十五周年記念には高須も出席され、中尾に拍子をとって頂いて在校中にお預けした唱歌を金部君で返りました。秋には根津の笹の雪で級会を開いて横森、長谷川、片山、寺尾、長沢、加藤、牧野の七人雅談の時を忘れしました。昨夏藤岡御主人御逝去をいまして、深く御悔み申します。岡田、石垣も御元氣の由、最近お便り頂きました。

六回中級

鳥井 奥平

懐しい級会を後に四十六年、一口に四十六年といいますが返り見れば何と長い事でしょう。其の間時代の変遷につれ、どうやら其故も果敢て子供等も一段落、ホッとしたと思つたけれど、どうも毛のお婆さんとなりました。然し心持は昔まま毎月級会は何より楽しく続けて居ります。昨年十一月には級主任の吉村先生を再度神戸よりお迎えして、十三の級時代にかえて昔のお母さん甘えました。其案じかつ日に私の級のお母さん形だつた藤森急逝のお知らせを受け一同茫然、早速先生を初め一同でお悔みに伺いました。當日も御出席の筈だったのに……誰よりも級会の好きだった藤森さん定めしお満足にお冥福なされた事でしょう。

年春他界御慰問の段御察し申します。大岡一昨年二月一日心臓余脈症で御逝去、宮川、小林政蔵を代表して御喪。杉田東角御病氣等との事御大切に、鶴岡、高橋、武石、三沢、赤間、杉田、廣政、上田、三野、安藤、村井の皆御元氣の事存じます。昨年十一月十六日仰光寮で級会開催、出席者小林赤子、石川三野、吉田、岩瀬、吉村、渡辺、富川の皆様に小林の九名御元氣、地方の方は御上京の際必ず宮川か小林政蔵へ御連絡願います。

七回中級

関 チヨ

私達同級生で、都内又は近県都市にいるものは、相変わらずどこかで級会をしてはお逢いしています。去年の春には、三毛の御次男様も御結婚なさいます。新年からは前田の御次男様も現職をお迎えになり、藤、輝やかしい人生のスタートをお切りになりました。おめでとう存じます。さぞ御安心なさいましたでしょう。山田はお義姉様この一月の末におくしなさいして、お力落しの程察しいします。旧年の秋には前田も御兄弟をおくしなさいまして、御慰問の事でお氣の毒様存じます。お互様身休を大切に、一日でも元氣よくこの春も又、たのしく語り合ふのを楽しみにしています。

七回西級

根来 白柳

私共西級は幸と戦後老いて益々元氣で二月に一度位都合よい家庭で級会を開いて親睦を計って居りますが、いつも十三人は出席が、各自習得した稽古事の順、孫達の成長時、さては世

間近と時の移るの忘れて遊ぶのを老後の楽しみと致して居ります。お正月七草の新年宴会はいづも久保、熊田のおお折りで学生時代に備り福引など春らしい催しもあつた。殊の外盛況です。赤年一位は餅食、箱根と進出する事もあり、この楽しみは皆様が健康である限り継続したいと願つて居ります。今年は卒業後はや四十五年を迎えましたので、特に何か記念になる催を行いたい目下相成中です。なほ追々お互に金婚式にも近づく事ですから其際は振つて級員を招待し共に幸福を分かち合ふ様申合せがありました。故、此上とも一層の自重をお願い申し上げます。

八回東級

松組

高瀬、常に母校と級との為最大の御援助を頂いてます。中里、数々の婦人役員で御多忙。伊沢、栃木県下で、皇后様の御挨拶役も遊ばす程の御活躍。小山、築まで少しお弱りの様なれど二揚げ御主人逝去今は普賢教授、大賀、昨春風流風流御活躍。新見、出も可能の由。大庭、戦後御主人の御里に風流な御活躍。新見、お美しく、川口、立派な御体格、木子が学校を卒業、就職もまゝりはつとしたと事。中村と、お嬢様の御宅の御不幸で御仁義の御結果昨秋より御快方、吉成、御長男様もお嬢様も一つ御内尋し、岡山、級会にはいつも創かな笑顔を聞かせて下さいます。お願やかに御過ごし、石井、田舎暮らしとは申せ、便利なお住い

に種々の果樹、洋菜、バラ造り迄遊ばし、益々御活躍。加藤、山崎千代、御二万共福来をはじめ色々の手芸に御精進。中村喜代子、九十二歳のお母様にお仕え遊ばす、善いお嬢も十七人のお孫娘とは級一位、其中お二万迄母様幼稚園にバスとの嬉しいお便り。小町、谷、美しい面のお得意だった方、今も筆筆はお返しにならぬ由。小畑、松嶋、永くお骨折下った吉成のお引き継ぎは致したものの、小山の底の御助力が無かつたらと感謝致して。常に道徳観念を重んじてつた義人先生亡き後は年二回の級会を催し御迷惑も忘れて川村先生に甘えて居ります。

八回中級

長川石

安井、一昨年より御病氣でしたが只今ではお元氣。尾平、堤崎、岡田、幸田、石川、資訓、高田、長、久保田方時折の級会に御出席御元氣です。小枝、たまには級会に御出かけ下さ。小島、和辻、岡田、武口、福田、荒井、船津、針間、松島、小原の皆様長らく御便りなく如何なら、いましたか近況おしらせ下さい。皆、昨年末度々御上京、お替方を御見舞いお楽しみで。級会にも再三御出席でした。杉山、約十年の闘病生活にうち勝たれ御調を回復されています、お便り上げ下さい。都下中野市西府本宿立府中病院東八の六。昨、昨年お里の御母様九十歳にて御逝去御悲傷で御座ります。久々、熱海の閑居所にお住いですが只今は眼を病んで御静養中です。

八回西級

浅野みち

最後いち早く立直られた松次、大西御両所様の其れこそ必死の御努力によりまして今は悪夢の様な戦禍から遠くまぬかれた幸運を喜びながら十四名の級友が昔のままに仲よく暮して居ります。未だ御方々の知れぬ五十六名の御安否許りが一同の心懸りで御座います。村瀬、築山は神戸に御住いですが、築山は御令息様が東京へ御転勤になりましたので二回級会に、御出席下さいました。村瀬も是非一度は上京したいとの御便りを頂きましたので来しみにお待ちして居ります。秋庭は、一昨年末に脳溢血の為お一人淋しく御永眠されました。大西、松水の御主人様は去年十二月間前後して同じ様な御病氣の為惜しく御急逝されました。御二万級の御妻は元より私共級友達も相つ御不幸に茫然として居ります。茲に謹んで御申上。升。

九回東級

星埜浦原

会費発行に付級のお知らせをくせうけ久しぶりに限られた字数一杯にまとめました。卒業四十周年を廿八年秋にそして三十年五月には還暦祝賀の意をもち、廿九年会を開き、在京の九名出席、御招待申上げた丸山、川村先生もお元氣な姿をお見せ下さいました。東京近郊に近所に在住の方には年三四回の級会にてお元氣な姿に接し昔に返つて賑やかに話したいとします。が、遠く地方におられる諸君には遺憾無沙汰になります。御上京の御には何卒在京の誰かに御連絡下さいませば喜んで級会聞き

たいと存じます。杉村、大久保には御病氣とて一同お集り致してあります。どうぞお大目に一日も早く御金快を祈ります。松田には胃腸の病二月二十日御逝去、今迄永い間欠けなかつた叔達にとつて大きな悲しみ、在京の一回でお送り致しました。お互に年をとりました。健康第一とつとめませう。

九回中級

志田北沢

吉岡一人の御子息様吉岡豊下目衛隊に勤務、四人のお孫様居られ御自分は保険の代理店を営んで居られます。石津お孫様方お相手に元氣にお通しです。鈴木御嬢やかにてお子様もそれぞれ御成人、美しくお通しの御様子、岡崎清水の未婚地に静かに御通いで。村山色々人生の荒波を越えて今はお勤めの御證書のお取もおありの由、本原お元氣の由、小日山御機嫌よく今は御参参など唯一のお仕事でお通しです。石川昨年御主人様と渡米されました。お土産話を伺いたいものです。田上お嬢様方御近所にお住いでお孫様と楽しくお通しです。九見お嬢やかに御趣味の釣りの御指導などで静かにお通し、岩城御西にて相変らずお元氣で御活躍。前木久振りに北の國より明るいお便りを頂きました。さて悲しい極みでございますが、飯田は昨年十二月五日遽に御逝去なされました。

九回西級

池田鏡

蒲生先生昨秋尊壽を迎えられ益々御健在にて御喜ばしく、牧原本にて医院開業の御子様と共に、服田美喜昨秋御死共、山田友元

十回東級

伊東藤井

十回中級

宮沢 こと

十回西綴

花岡とめ江

十一回東級

熱田能瀨

十一回西綬

市川加藤

十二回東綴

原岡

— 47 —

— 46 —

十二回中級

堤 内山

波多江共立子大、川村短大に教授をたらし御活躍、大機一昨
年横濱へ御移転。久島、宮原、斎藤、村上、伴、お元気の由。衆
山は最近御移転の由、御大切に、石尾十五年振に國西から引
上御な御生活をお楽しみです。及川俳句、茶道に益々御活躍の御
様子。浮田箱根の御生活も丸五年になられ清浄な朝夕をお過ごし
です。御所お孫様方四人御成人お楽しみ多しお越しの由。地方の石
川、渡部、露崎、大森、兼松、高島方は御返事間に合いません
でした。当石井、八木、岡田、下見、大内、宮島、竹中、竹所、所
明に付御存の方はお知らせ願います。堤、内山は元気に過して
居ります。餘事も大分長くなりすので難方かにお願い致したく
存じます。向本年は卒業四十週年に付来る一月二十日に学年会を
開催の予定で御座います。

十二回西級

小山 鳥居

戦後十年お互に辛い、いばらの道でした。あの戦争には誰にも
大きな補手を受けましたが、おけて御主人を失われました。御
命息を失われました。小林千寿、堀尾、坂本、何とお慰め致す業
も知りませぬ。御心中深く哀し申します。でも二月廿日には
は母に於て卒業四十周年学年会が催されました。西級は小山、牧
野、日高、鳥居、堀尾、昔にかえり来り、和やかに半日を過しま
した。かかる折には皆様ぞの振って御出席を、さき皆様の御消息
を、日高、小林、八千代、石田、中村、牧野はお孫様を中心に

お楽しい朗報。沢田、小林千寿、安田、御立派に御成人の御子様
方の新家庭の御準備に御心遣いこそと推察申します。西、日高
昭御元氣、他はお返事何えす残。小山、鳥居共に元氣、孫の世
話にまこと。

十三回東級

田辺 杉浦

級会は毎月一回相変わらず催して居ります。一月には鳥田宅にて
開き、中村英廿三回忌、飯塚、中七回忌、志摩重子一週忌の御
法要を兼ねて新年会を催し出席者十三名。二月は田辺宅にて開催
出席者十二名。染色研究会は毎週つづけて居ります。平尾、本位
田、杉浦、岡田、大森、三浦のメンバー。光明会を岡田宅で茶会
にて毎月催して居られます。岡本、荒木、小林、堀田、山本等御
熱心に御信仰。一色愛子目下大森病院に入院加療中。東一ノ五
号室。坂本順調に御子息卒業、就職決定喜んで居られます。福
島、三浦、若林それぞれお子息卒業、就職決定喜んで居られます。昨
年一月三日志摩重子節の域にて御追善、悲しき極々、還子に引續
けて来られました。遺族「たまづき」を会に頂きました。

十三回中級

平尾 角谷

井上七代御長男御死、謹言方御結。鍋島福祉施設に御勤め。
杉原宮崎市御住居。武田共君御他界後補給に御勤め、高校の級
級御成人を築み。河村三里様に田園生活を、小代茅崎に農の御
経営、町野山形で婦人会御活躍、令息院開業、赤木美須市に令

息と御通し一月に一寸御上京。竹田は普通、佐藤令息は専攻に
文学に夫々御勤め御期待致居ります。浅見、大塚、吉村元氣となら
れ、杉浦、渡部、方と級会御出席も嬉し、打田、井伊、吉田、
菅波は御孫様と御暇かに御通です。中西御経緯大御宜しき由、
木村御氣如何、神戸とて御見舞も出来ず残念です。石川、生田、
渡辺、井上照夫君御他界。静は英大在学の方御勤め卒業を、小川、
秀は琴の道に御精進。芳は昨西國西御子、藤方御勤め、照は御勤め
大学入學、御孫様、井上御上進御来と存じます。日下御勤め近
況を、平尾、角谷元氣です。

十三回西級

中村 斎藤

皆様御協力に於ては卒業後二十年を記念した家族のアル
バムを作り、又昨年四月には卒業後四十年を迎える消息を集め、
御銘々の御近況を一冊にまとめて御手前にお送りしました。改め
て御報告する暇な事もないと存じます。丸山先生は常盤松学
園を御勇退、飯島はお嫁さんきまり御満悦、山崎はますます
御仕事発展。入江、中村も小いながら木の香の新しい家に移り
ました。菊地、中山、堀、堀間、鈴木、田崎、青山、五十嵐カネ
金子、五十嵐喜栄は御多幸な御多用な、又は有閑なそれぞれの
奥様。御主人様にお供を立派に過したの川崎、池谷、
柴田、石原、下元、松岡、佐田、島山、入江、大西、斎藤も元氣。
向、遠藤カネ、斎藤恵、柴田鶴の御消息御存知の方はお知らせを。
中村女子(廿一、二一、六、斎藤テイ、78)〇九三九。

十四回東級

山崎 万里

菊香を昨年十一月廿六日、私共十四東として嬉しい特筆すべき
会を持ちました。それは若き日五年間御養育をうけた清生先
生の喜寿を御祝い申上の合同級会を御光榮で開いた事でございま
す。先生には云間寒い北海道に悪く御通しになりました。九月
月御帰京になり、この日も御元氣に御つややかな御慶な御慶を御
見せ下さいました。集まるもの四回の方を筆頭に五年間御担当を
うけた六回の方々、其中に私共十四東八名、南原、布施、野
牛、飯沢、御牧、金坂、清崎、山崎などほんとうに珍しい御慶も
久々に拝見しました。先生の御慶を拝するだけで涙の出るような
嬉しさを感ぜし御慶をしのび学生時代に会えりまし様に和氣御々
たる内に御慶を致しました。飲談は何時かは時しもしらず日本
御慶の余興などあり記念撮影を致しまして御名残惜しい会を閉じ
ました。布施の御慶で暖い毛布を渡上ること出来まし私共
も嬉しく存上居ります。級の個人消息に代え一筆申上ました。

十四回中級

伊東 つぎえ

佐藤先生お元氣です。水井、山口お茶の御指導に御忙。
水町若く美しく童星の御慶、渡辺成人された四人のお子達に君臨
しクラメ編を、渡江新居に暮かれ、笹村車で友達を訪
問なされる程回復、和田、吉良、堀集お元氣、丹生谷お店御盛、
島村御無事、松崎御物にお忙がしく、丹羽は少し血圧が、こ要
心中、末岡御勤めお通し、若林毎日お務め、西川元氣で妹様

のお店を手伝われ、丹沢和歌の道に御精通、小東幸福、片平は桐生と柏でござる、小林は社会事業、御奮闘、種村お仕度で若々しく、辻村は学校で長裕になられ、三原は東京の飯屋で金魚の世話をされ、笠森、吉田、野元、家永もお元気、佐野もお変りないと思います。毛利、伊東共に元気で居ります。

十四回西級

田村 千代

卒業して四十年近くなつたとは我ながら驚きます。級会に集まる願ふ方も方々まっています。卒業以来逢ひし事のなひのは亀井、小林、岡本の皆様、福岡はお所もあり明です。昨年は服部の、今年早々には講部の御主人様がおくなりになりました。基は奄美大島で有力な方におなりです。三島は岩波の御仕事を、原田は女官として、河野は女医として、又八景は会社とそれぞれお勤めです。内村は太宰もお宜しく、他の方は大抵お家で御安らぐ、多い方は六、七人も集まり有るというわけ、今更この四十年が回顧されます。それにしても世の中も變半の十年のすさしかつた事を想います。

十五回東級

三宅 志都子

お便りを書くために、ふと消息不明で亡くなつた方々を数えてみました。意外に多いのに驚きました。何卒お互様いつまでももつと元気であり度いと存じます。年に三四度の級会には楽しく待たれますが、昨年十一月の時には常連の外珍しく高桑、佐藤なども御出席でした。山田宅の二月の会は篠田、青山、久保

田、三宅出席、初々しいお嬢様のおもてなし頂いて思つた方になりました。皆様もうお嬢様という方が益なお話が出て大層参考になりました。お忙しい生島、小東時折はお顔を覚えて下さいませ。和田御主人の御病氣は如何ですか。佐藤の御息の御病氣は次第にお宜しく何よりです。遠方の早田、高桑、篠田、竹内、御上京の折はお知らせ下さいませ。

十五回中級

黒須 片岡

御近況を記された御返信のなつかしさ、小野先生は七十八の御齡に拘らず御元気で足跡を訪ねたりの御楽しみの外に教子子との御談話を伺ひ下さいます。伊東先生は多磨の康達城に、早今年は九年と承ります。倉橋は昨夏七月二日御逝去、哀悼の極みで御座います。佐々木は六年間、石井は昨年御主人を失われ御淋しくいられますが、佐々木は御料理の御稽古を、石井は東京裁判所調停委員を務められ、平凡の毎日を法元、小林、増戸、福田、野崎、浦川、金原の皆様、高血圧で御療養中の井上、只一人の御子息の御結婚の日を御待ち兼ねの会、初孫と会う時の樂さといふと須永、遂に御返事頂けぬ方々共々精々御機嫌よく是非御目に掛る機会を作り度、黒須、片岡共に元気でございます。

十五回西級

伊東 千代子

奥泉この度御玄孫御他界の由、御愁傷の事と存じます。吉田御勤めの傍御長男の御成育を御楽しみで。北林神戸の同窓会で皆

様に御会ひの由、東暖い浜辺で御気楽に御過し、山口新御長男御結婚にて東京勤めにおなりとの事。谷口御子様方と御賑やかに御過しです。小此木三田高校に御勤務、御二人の御子様も御就職で御安心です。江口御子様方と近々御新築に移れる由、久津最近御元氣になられ御新築の御長男と御賑やかに御過しです。田中度々級会に御部屋を拜見させて頂いて居ります。坂本昨年春より御病床に付かれ御静養中です。御会快御折り致します。御返事のな

い方々も時折の級会に御元氣の御顔を覚えて下さいます。中村、伊東それぞれ息子を外国に出し消しいながら元氣に級の委員を務めさせて頂いて居ります。

十五回南級

伊能 嘉子

堀内先生は御郷里の長野県にお住いで八十の春を迎えられ益々お元気で、本年は金婚式にも当られる由、洵におめでたく存じます。

戦後月倉、平島、田中、大谷、尾崎の五人の方々の消息が全く分りませんで心痛めて居ります。お心当りの方はお知らせ下さい。東京では、深野、有吉、内山、田代、中野、佐藤、岡部、斎藤、井田、三田、神崎、伊能などで年三回級会を開き、関西でも平島、佐藤、佐々木、杉浦の四人で時々お集りです。大島は先年二年位御静養でしたが、昨年御御朝、深野終戦前、永沢は昨年十一月御大君を失われましたが、お子様方々静かにお暮しです。卒業後三十七年もたちますので、それぞれ子供に嫁を迎えたり嫁にやったりで、集る時には姑としての心掛や孫の語に花が咲きま

す。馬場、小林、持田方には、お会いする折がございませぬ。

十六回東級

小柳 芳枝

昨年五月の、卒業三十五年記念会には、渡部、西村、入江、神崎、武内、田中、岡田、吉岡、馬場、黒須の十二名が出席、大方は常連ですが、久保のお顔は遠慮、入江御四人、渡部は此頃高田外語へ週一回御出席、入江は東京へ御転居の由、大谷舟がすっかり板についたお話、田中は御病氣勝った青春時代を取戻すべく英語を初め各方面の勉強に御精進、高須数年前より級会にお入り、岡田には一昨秋鎌倉のお宅で、池田には昨秋三鷹のI.C.U.での級会でお世話になりました。池田は目黒区立中御勤、東、神崎と御一緒に香道の御研究、豊田、草月流の御範をしてお出ででしたが、先頃葉高血圧で御療養中、武内、馬場数年来級委員としてお世折の趣、此度武内は御令息の御結婚、馬場は御親戚御就職で御多忙、本稿代理の小柳は、昨夏京都で今津に揮順、新日本音楽に御活躍の御様子です。

十六回中級

横 派 栄子

御在京の不敏、三増、栗原、泰山、池谷、玉城、仲小路、松井それぞれ御忙しい中にも御元気で、昨春の卒業三十五年の同窓会にも御出席でございました。福本は段々と御宜しく、福延は最近二宮より又東京にお帰になりましたので、この級の級会にはメンバーがふえやす事と楽しみに致して居ります。安部、長谷、樹谷、平井、斎藤、廣く御会ひ致しますが御元氣の事と存じます。福山

水い御前床生活で「口次は違者になります」と歌いて居られまし
たが御体も徐々に御回復の御様子。馬には鎌倉に御住いで、殿に
も時折御出席になります。関西の殿、香春も御元氣の由、仙台
の大殿、札幌の山田時々御上京とか承ります。松井園子、日比野
久しく御消息ございません。如何御通して御座いますか？ 高
橋、荒川、笠真、武内、入江の御住所は不明のままになって居り
ます。どなたか御存じの方はお知らせ下さいませ。

十六回西級

布施ふさ子

法費先生はいいつも御元氣にて毎回級会に御出席され一同嬉
しく存じて居ります。

尾島御様と御忙し御互の御仕事を避けて居られ、級で集
ると言へば、相変らず大勢で御遊覧してお世話になって居ます。
鶴沼で御元氣な萩原、家事調停とか言う面倒なお仕事で忙しい
安藤、武田、草間も御手練方御成人で、又お宅がお近くで時々御
会いになると御喜びの香川、石原のお二人、ロマンズグレー御
美しい矢張り御常連ですが、昨夏五月の卒業五週年記念級会
には法費先生を始め、丸山、池田、今井、船山諸先生を囲んで他
級の方々と共に楽しい一日を過ごしました。前記の方々の他に近
藤、平田、布施、清貴、吉田、津田、大原の斎藤、山梨の内田等
珍らしい御出席があり盛會でした。移動は清水が大阪へ、吉田が
渋谷へ御引移りでした。では御壮健で。

十六回南級

柳瀬 加賀山

久々で級友の御近況をお知らせ出来ず事を遅く存じます。
時折の級会の常連は三浦、谷口、金子、小島、清水、田島、橋場、
野田と私共四人。楽しい話に花を咲かせ惜しい快を分ちますの
はいつも灯ともし頃でございます。楠本お嬢様が舞踊と武振のお
御匠様で日々が楽しいとの仰せ。桜井も御元氣、浅野昨秋升年振
で級会に御出席、福井職技苦戦しましたが子供達の成人で落ち
つきましたとお便り。姫屋をさせて静に御生活の原則、北条お
嬢様方東京にお移りの由、是非一度御上京の程を。お手方揃っ
て音楽の道に御精進でお楽しみ多い故、永らく御不快でいらし
た御様子の井上何卒御大切に。山口御元氣で時々御上京遊ばしま
す。尚戦争の為に多大の犠牲を払われた方々に、おくればせ乍ら
心から御慰みと御見舞を申し上げます。

十七回東級

野口 英子

この度は八々の消息御を嬉しく存じます。島田先生、昨年御上
京川村宅で級会先生大層お喜びで御座いました。石井御嬢様近
く御結婚御をお楽しみ、山口二月の級会に御出席下さい。池水
御元氣に、笠原初孫様と御一歳、堀村御嬢山山口、宮村昨年御
上京の折級会、大原御主人御入級日祝御看舞です。敏子姉の御
心通します様念じ上げます。主夫、五月に御嬢様御結婚、二月に
級会して下さいました。小林三月御主人御御栄転共、南米へ御立
ちの由御大事に。鈴木御茶、御料理とお稽古御楽しみ、中川御新

築の由、津田御茶の御教授、関文の研究など、長沢御普請中の
由、川村御嬢古など御楽しそに、田中初孫様大した御発育の
由、御近く内孫様御誕生の由、松信佐原にて御料理御教授で
す。長く鈴木御普折の後私承ります。笠原、佃、バートン御渡し
致します。万事御許しの程。

十七回中級

杉山 延枝

復活に喜び筆を執りましたが、おたづねする暇もなく級会もせ
ぬ意欲者委員は、お手に入れるチャンスとてなく誠に申し訳ない
次第御許容を。学祭を出て井有倉、御手練方それ／＼独立、お
孫様にも思われ、たまの級会の定連は眞原、神谷、渡辺、今井持
永、石橋、松本、勝田等、諸君は六本木時代の音頭から更年期障
害老院行等。昨年三月笠井園子から上京、十一月には大関九
州から古中村屋で級会開催、大矢知内閣した奥様より御幸福
に、神谷、水野高血圧を克服され、今井、青盛時々御病気の由御
大切に、上野御築成り一粒種の令息の結婚をお待ち兼ね、神山
アノに精進の傍ら中風の母上の看護、小松お子様達東京で就職時
々御上京、勝田御主人昨秋御遊去お悔み申上げます。地方から上
京の節は一寸お知らせ下さい。

十七回西級

長谷川 長栄

戦争以来の長期間の消息なごに限られた紙面ですからこゝでは
大略を述べて、別に級報で詳細を御報告致します。先づ御戦死第一号
に結城御子息様、内地爆撃では酒井御主人八歳と相馬御子息様の御

逝去、戦後は玉井御主人様の御葬死について長楽御主人様が交通
事故で御他界、其後東条大將と御最後を共にされた重戦等、皆様
何とも申し上げるの、御不幸な事でした。又戦犯に問われ未だにお
帰りにならぬ嘆口、一日もお早い御帰省をお祈り申上す。星井、
神吉、福岡、飛松、金井方は引續きの御苦勞を乗り越えて今はお
休ませです。富沢は東京に、井原は伊東に再びお多幸な御生活に入
られました。戦災も復興してやれ／＼と云う処、子供の結婚を否
に病んだり、孫の成長を喜びむ年代にもなつて来ました。在籍組
は折々の級会に十名位集つて昔様御元氣です。

十七回南級

新井 芳

蛭子先生いつも御壮健の様に押します。お嬢様の御主人も御婦
国になられました由、御上京の折を楽しみにお待ち申上げます。
深井先生御見女子高校二年御担任で新時代の良き先生、又御家庭
では良きお嬢でいられます。道彦の御振舞のめいっつ御
壮健でほんとに心願く嬉しい事でございます。終戦後十年級会も
次第に賑やかになり、植松、銅谷、萩原、岩切、北浦、山梨、片
野、二階堂、岩成、吉木、北川、勝野の皆様の御顔が揃ひます。
裏しく通子事が出来る様になりました。石川奥の御田、関西の芝
川、長尾皆様御元氣、お子様それ／＼御成人の昨今は東京の空を
横かしでいられる様でございます。未だ七八回御消息判りませ
んが早く全員揃ひ度いと念願して居ります。

十八回東級

井手 谷口

会報に御消息を書く二月十一日三ヶ年ぶりに御会を致しました
が急の爲先約があつて欠席多く、神賀、阿部、山田、吉岡、井出、
谷口、六人半日楽しく語り合ひました。多田廿六年御退職後御元
氣の由、千野御子様御康となられ申すに御通です。沼井は御
嬢御孫様御結婚御孫様の御訪問が楽しみみの御様。作道御子様退
々御成長の爲興つた意味の苦労が多くなれば、菊地一人娘結
婚後暇になり新家庭訪問と、二回、三回の英語が、楽しみのお便
り、森島長女結婚、長男前船大、次女三女四女が家に居りま
すのお便り、遠山平江に消光と事、岩田白髪老眼孫とお婆さん
の条件を備へましたと便り、手塚孫二人となり次男にお婆さん
になりますとの事、三森昨年御主人様入院、八十四の娘、一男二
女をへへ世心配の花盛りとお話でした。他は御返事未着。

十八回中級

平松 雪子

今度消息御復活のお報せを嬉しく存じます。卒業後二十余年、
級の方も良き妻母として又学校経営、洋裁、お茶、料理の大家
として後進指導に御活躍を嬉しく思ひます。境遇は色々違つても
何時も変わぬ気楽な心で話し合へるは共に学び進んだ
幸です。私は永く地方に過し久し振に昨春同窓会で皆様にお逢ひ
し其の感を一層深くしました。集られた十八人から昔の気分で
互に教へ、慰む楽しい一日でした。其後八月末拙宅での級会も不便
な所とて心配しましたが、十五人の方に来て頂けた事は嬉しい事

でした。杉田は古河からでした。話の内にも各々の経験温帯等得
る事は多々あります。何時までもこうした会合を楽しみ度、井
上、伊藤両先生にき淋しきはありますが、井上先生の「誰さだけ
で慰めになる心から話し合へる友であれ」とお言葉を思ひ出升。

十八回西級

宮地 征子

久々に皆様の御元氣な御消息に接し得誠に嬉しい事でございま
す。野崎は二人の御子息御結婚、お嬢様は上野英大に、浅野御子
息は御勤め、お嬢様は女子大高校に、山田、喜安御子息は國立病
院に東電に御勤め、小松原は三人の御子息はお勤め、五人の御子
様は御修学中、牛内は女子大御出身と在学中のお嬢様、宮永、中
里、神崎お嬢様がおありですが御手紙に居られず静かにお過しで
す。宮原御大君のよき片腕として、高見沢放送にY W O A の多方
面に御活躍よい戯曲をとお贈進、桂主婦の友の幹部として益々
重きをなされ、三好昨春御上京、御長男は御勤め、お嬢様は御結
婚、御三人が御勉学中、下河辺御子息は御勤め、お嬢様は御結
婚、御三人が御勉学中、御長男は御勤め、お嬢様は女子美
術に、安岡御次男も御就職、御次女は五月に結婚、九月に御渡
米の由、三沢川お嬢様中心に楽しく御過しです。紙面不足不行届
き御許下さい。

十八回南級

井上 孝子

久々に級消息欄を頂き御同慶に存じます。御互様色々と経緯
致しましたが、歳月に流れなくも五十の坂を越え次々次の世代
にバトンを渡す時が参り余り夢の様な気が致します。ところでお

由、在りし日の思い出悲しく謹んで哀悼の意を表します。

十九回中級

黒住 島

久々の委しい御消息をおのせしたいのですが何分御顔面が
限られておりまので極簡単に敬称も略させて致します。
「東京部」遠山(廿一年台湾より御帰郷)、島、白井、増山、宮
川、辻、成田、井口御諸々々御結婚、原田、植村、廣、原沢、
柴田、林、黒住、難波、山口(豊島高校御在職)、和田(青山南町
に待望の洋装店御開業)、栗原、「神奈川部」渡辺(分館長)、
野中、佐藤、「埼玉部」斎藤、井山、「四宮部」並河、「札幌市」
細谷、小林。以上の皆様は御健在。その後御主人をなくされま
したのは宮川、辻、難波、渡辺、斎藤、細谷の方で誠に御哀の毒
に存じます。角片山は廿九年三月十七日直腸癌の爲御他界、御慈
傷に耐えませぬ。又細田、伊藤、市川、佐藤の方々は御消息不明
で残念でございます。

十九回西級

三須 昌子

久々に御消息を申上ります。同角、山口光、山崎、高野、川崎美
智子方は御子様御成人にて御多忙の中に御来し方多く、浅原は
東横の洋裁をお引受けにて御多忙、石川、花田、岡、山口竹、小
山、渡部は結婚御勤めの御子様お持ちで色々御思案中。井上は御
子様なく御氣楽相。菊田は義経教授、足立は四人の御嬢様の結婚
をすまされは御嬢様の御婚、御叔は深川高校に永く御勤めで昔
と変らず御元氣。横田は若、人の指導、邦人作家の発展の爲に増

十九回東級

福原 弘子

十一月二十六日御光寮の浦生先生同級会に出席出来ましたの
は加藤、野田、水崎、岸、渡辺、木、服部、谷、田島、福原、好大に
恵まれて和氣あいあい六十人の数え子か、お里のお母様の様にな
つかしい先生通んで贈るまで今昔談に花を咲かせました。
限られた紙面故にいい模様をお伝え出来ませんが、毛布、果物料
等喜寿のお祝品も一入お喜び頂けましたことを御芳志をお寄せ下
さいました皆様お知らせ申上げます。加藤「五歳目の新年を此
方にまiori迎えましたよう、家風のみ込み気楽になつて」
とお喜び、服部時代から水年級のおお展し下さいましたが、今度
母校に近い福原が役目を引継ぎました。案御寺四国の護国先か
ら御帰京後過勞の爲御病弱御新居に移るのを目に御他界の

十九回中級

黒住 島

嫁様をお迎えになつて御幸福な方は古村、堀井、福井、木下、田
辺、岩崎の皆様、この他にお嬢様のお嫁入りでお婆様になられた
方は岡金子、長尾、西山、木村、福田、古村、石沢に井上、伊
藤御子息、フナリカ御勉学中、森、中野、西山、木下、堀井、金
子幸子、田辺皆共に通令期の御令息、又長尾、岩崎は御令嬢、
堀井御嬢も高三年になられそれぞれよいお子様、その他清水名
古原、長谷川、岡山、松岡北海道に御健在、山川、白土も久々にお
目にかけました。御不幸にも木下に入となられた方は、長谷
川、木村、石沢でございます。島田、金井には御無沙汰御申上
ります。御住所不明の方は出村、土屋、伊川、武久で残念に存じま
す。不行届お許しを。

十九回西級

三須 昌子

久々に御消息を申上ります。同角、山口光、山崎、高野、川崎美
智子方は御子様御成人にて御多忙の中に御来し方多く、浅原は
東横の洋裁をお引受けにて御多忙、石川、花田、岡、山口竹、小
山、渡部は結婚御勤めの御子様お持ちで色々御思案中。井上は御
子様なく御氣楽相。菊田は義経教授、足立は四人の御嬢様の結婚
をすまされは御嬢様の御婚、御叔は深川高校に永く御勤めで昔
と変らず御元氣。横田は若、人の指導、邦人作家の発展の爲に増

△御精進。江戸御母様の御看病に一時も御手がお離しになれず御大事に。臨時時お体がお悪い由御大切に。大平、山本御元氣の事と存じます。大原、進藤、川崎、木戸御主人様早くに亡くなられましてお淋しき事と存じます。白石御病氣全快、大原にて御主人様の教会のお手帳、福沢と森は金沢にて福沢は清字の先生、昨秋は森の御長女は福沢の媒酌で御結婚御目出度う御慶びます。久万は一昨年夏岡が御世話で御子様おつれになつてラジカルに御多幸を祈ります。尾崎、大原、佐藤御消息不明。

十九回南級

杉山 利子

中沢先生お正月に短歌を御寄せ頂きました。「万里の人みな春く平かに迎えし年を賀し奉る」先生は眼が御不自由でいらしゃいますけれどもお慰めし、心静に、明るく、勇ましく、日々を幸福に御過す。誠に頭が下ります。教子達の訪問を心から待つて居られます。消息は詰面が少い為、教会の御報告に止めて置くと事をお許下さい。昨年十月小川御上京を機に教会を持ちました。石川先生御忙しい中を御出席下さいました。御出席は山口、福永、石川トシ、小川、大蔵、古川、岩崎、松岡、徳見、大沢、但木、石川、藤田、宮土野の皆様方に御でした。次に一月下旬長崎の井上御上京の由でした。御多忙の為、教会を持てず残念でした。思えば秋の庭に秋を別つて三十二年、御孫御孫の方々も居られます。誠に時代が移った感深いです。

二十回東級

鈴木 良子

二月十三日古宇田の病院で教会を開き、若やい平日を過ぎました。良妻賢母の責を果たすに今一息といった皆様、健康に御門前にお祈りのお子孫達、田口は神奈川県下、稲田は第一銀行にお務め、昨秋には御孫様もお生れになりました。村田は住友、真木は今年より三菱銀行に御勤務、熊本は東京工大御在学中、今川は御孫様も大きくおなりのご様子。古宇田は流石に御一家和やかで昔御父君のお後をお継ぎの由、白石お嬢様は抜群の御成績で日本女子大御在学、山根お元氣に、高田外務に、お務め、田口は人も知る書道の大家、野口も同じ道に御精進の由、P.T.A.の御田、津波の村田共に夫人の御威、返子の山本春の教会にはどうぞ。皆様それぞれの御生活に喜びを持って今生を生き、久しく御病氣の長間は御快癒遊ばし、皆様お元氣で嬉しい極みでございます。

二十回中級

村岡 はな子

あの苦しい最中最後も何と無事に切りぬけて卒業後三十四回の春を迎え、皆様揃つて良い年になりました。まず子孫達、今日井の八人を筆頭、お孫持の富貴、井上。御孫達盛りの武蔵、高橋、工藤、原、中村、山崎、御勤盛りの内伴、武蔵、P.T.A.御活躍の福田等。事業に御活躍は福神、佐野、先生になられたのは時田、長谷川、赤道の大家は原、益石は内。村岡きもの屋。久しく御病氣の長間は御快癒遊ばし、皆様お元氣で嬉しい極みでございます。

ございます。教会は在京の八人位、千葉の武内、佐野が御常連で、ニューヨークの御参加を切望して居ります。今度毎月一回級会を掛けて、原から長千家茶道の様子を御指導頂く事になりましたのでござい……。

二十回西級

正富 慶子

阿佐美先生卅年の歳月なき様お褒りなくお元氣、那須の国井御長女を東京へ嫁がされ、広瀬は上の子孫、福延お元氣、池田書道に益々御精進、由良がお高いと、小西お孫様お二人文字通りお祖母さま、三雲、河出、本庄お子孫方それぞれに御成長、岸御両親様を送られ、お一人切りに御主人なき後、入沢はお店を、土屋は児童交際を開きになり、桑原、名倉も御主男のお甲あつて今一息というところ、矢田ペンを捨て家庭婦人に、多崎お耳を悪くされ御不自由の由、公家御主人様御逝去後お淋しく、小林腰かい友のベツと御静養、藤原通しもおかれね眼科医の中堅として御活躍、大久保御長女を迎えられお賑やかに、秋山御後別人の様肥えられ、関西組も船員御転任で御上京、高倉、中村、井上も御多幸に、細谷仙合に、吉元名古屋に、宮崎瑞玉にお障りない事と存じます。

二十回南級

大月 光子

切角の消息御復活にも娘の結婚や男の子の入試、引越等、私事の多忙の為御連絡も出来ず今四の間に合いませんで地方にいらつしやる同僚の皆様申しわけなく存じます。悪しからず御許し

下さいませ。

二十一回東級

斎藤 徳田

最後、敬の御消息も解つて参りましたが、まだ音信のない方がありますから、御存知の方は御連絡下さい。地方の方々、御上京の折は御通知下さい。

梅谷最後御主人御死去、お子孫も成人されアパート御経営。斎藤三四年來の御病氣も全快。川口長男お勤め長女は昨秋御結婚、藤田長男はお勤めで、友の会で活躍。宮崎御孫様を御孫子。連藤御主人はまだ一連に御留早く御帰還の程待つて居ます。長女は三年前に御結婚。唐津、井上礼すかり健康になられ、蔵野お祖母様になられて結婚結の工場を経営。高野長男次男お勤めでお氣が、船越眞山手病院で活躍。中山遠いので会には出られませんが、お元氣。井上親最後御主人御死去、久々で昨秋集りて御出席。故郷長男お勤めで集りにはよく御出席。大附一昨年御長男御死されて余りお出掛けなく、歌橋、山岡、空閑大慶生活も長くなられ時々御集りの様子。岡村、田中、沢、小笠原、柴田、斎藤愛、徳田元氣で共にお祖母さん。塩月昨夏御死去、御冥福を祈ります。

二十一回中級

伊藤 倫子

麻布の丘に卒業の歌を唱つてから三十二年、たゞ夢の様な思いでござい。御孫様まで生まれていらつしやる御幸福な方も吉木（善）、中村、中名（仙色）、川田、岡崎、増えて参りました。藤は花巻から、小泉は京都から、室田は朝鮮から御引揚の

後、只今は東京に御住居でいらつしやいます。杉本御主人様の御消息が未だにお判りにならず、お察し申上げて居ります。處は大宮の八重垣裏に、本宿は鎌倉、又富田も川崎に、それれ御元で御越しの御様子、伊藤、折坂、内田の御三万は北海道、鈴木文は雪の小山田、中名生は仙台、弘岡は京都、鈴木(小坂)は静岡、石井は広島で皆御健康やかに御越しです。東京在住の方々(二十四人)何れも御健康にて家庭御繁栄の中心でいらつしやいます。

二十一回西級

中井 山口

中村先生月に御病癒遊し今は御快方にお向いてすが尚御静養中。岡田令息四人次々に京大卒業在學御入學。小沢御長女昨年結婚今秋出度、令息一人高松。市川令息今春十六卒、陽子中學生在。三浦御長男銀行勤務、次男慶応、御長女外科医に嫁され一女あり。山本令息三菱御材勤務、松田御長男東大大学院、御次男慶応に在學。桑島御子四人時に病氣もするがまず無事とお便り。山口御長女御今秋卒式の御予定、次女金田塾在、令息三井銀行勤務、御多用中いつも委員として御苦勞、林御長女米田でオルガン塾中、令息二人立大在、教会近く東條御近所に御新築、黒川令息高松在、三月末久々御上京、これを機に親会開く予定、其の御健康御出度ぬのが、御便りなき方も御多忙に急し御健康よくお暮らしと拝察、皆御子達共、誠、御結婚等の時期御多幸祈ます。

病、尾河御病で御引籠。最後に患しお知らせで石田十五年に過勞で、永見昨年一月お急病で御逝去、謹んで御哀悼をお祈り申上す。皆健康も御身御大切に。

二十二回中級

瀬 名

學窓を出て三十年、月日は流れ寂寥も四十八才の齡を重ね世の抵抗にも馴れて参りましたが、心は昔と変わらず集れば親会の賑かさ、遅参は一町先から会場を聞かなくとも来られる位。昨年の春は学会の外に四国から久々御上京の山中を道へ水町宅で、秋には九州からの中込を中心に御光榮で親会、楽しい一日を過ぎました。五月には教育委員で御活躍の石原の御招きで水町、板津、金子、永瀬、瀬名の五人が福島か飯坂温泉に一泊して語りあかし松島まで参りました。永く親の御病氣の候島へ御見舞金を集め丸亀に行つて戴きました。福川は神戸聖心の校長に御來、野坂は御休格通り白鷺高校の重鎮で、小林は伊賀事業に御活躍、何れも頼もしい限り。御消息のなかつた川崎九州に御健在、南は御結婚野と御家族、今後世縁の住所電話を詳細に調べ報告して置きましたから新名簿により御動靜御報告の程を。

二十二回西級

滝波 後藤

光陰矢の如く卒業後や三十日を迎え、いよいよ今春三月末には盛大な記念親会を地方の皆様御参加も頂いて催さそうと現在委員一同張り切つて居ります。さて昨年度の級行事は五月の仰光寮学年会はいよいよお若くお元氣の私共の五十風先生を中心に

二十一回南級

新庄 仁井田

卒業後卅年、職業を経廿二名の住所だけが分りました。大隅小川はお孫娘ありで、西島もお仲間入りなる用、永野の御長男は紐帯にお勤め、新庄お嬢は倫敦で御結婚と海外に発展なさる第、世も出て頼むしい事で御座います。山田、杉原、鶴尾、野村はお上二人迄御就職、岡部、海津のお嬢様、北川の御長男もお勤で近く幾組の新家庭が出来おめで度い事です。中野は先頭の御病氣も御回復お済み御健康、井上長年の御努力で御健康御幸せな御結婚、お便り申上す。井出は職後御主人様御逝去、三人のお子様の為信州で榮養士として、京都の田中と共に立派に御自分の道をお通ふの事心から敬服致します。皆様の幸福を祈りつ。

二十二回東級

工藤 榎井

最後初めての消息で敬せ度い事が沢山ございますが、字数制限の爲待にお交りのあつた方を主に致します。峰岸、森、佐藤、佐田、尾河、金子、新川、木下は御主人様御逝去され心から御哀福をお祈り申上す。峰岸慶太郎御遺族、森日相親、佐藤日大、佐田常勝、金子郵政省と各々御子様の御成人を榮しみに御んて居られます。柴田、堀川、杉原時折親しい御便り申上す。内山、小吳、和田(菊)たまには親会にお出掛け下さい。滝田、大河原、山田、野崎、下川、岩上、青山、吉村、鎌田、沢田、南出、畔柳、和田、新川、木下様等親会の御常連で、須藤御木で御父上の御看

会するもの十三人、次いで七月に岡山より御上京の諸君を迎え新宿中村屋に臨時親会を、引続き九月には大阪の堺谷を巡りて此度は鎌倉の木下ふさを先生御宅を十名の多勢でお訪ねし、鎌倉の名所旧跡を御案内頂いた、御家族御一同の心よりの御歓迎を頂いて平日を言に返つて遊びました。木下先生はお髪をすくくなられましたが昔と殆どお変わりなく誠に心に残る半日でした。地方の皆様には御上京の御は是非御一顧下さいませ。在京の者一同心より待つて居ります。神田御消息御存じの方は是非御一報を。

二十二回南級

早川 利子

横山先生三十幾年前とお交も尚も一寸もお交はり可憐いお孫娘相手にお過してすが近年高血圧症で御静養中です。昨年五月母の日御光榮で卒業満三十年の学年会を致し、お嬢様の御親礼で上京中の伊原木はじめ大淵、佐藤派代、神田、内田、尾岡、中島、遠藤、谷本、宗宮、青山、早川出展、他の級も沢山の御出席で本当に楽しい半日を過ぎました。地方の方御上京の折には是非お報らせ下さい。皆様お年頃のお嬢様をお持ちで御安心の中にも本当にお楽しみ。奥山、坂間何かと御世話下さいませ。高木一昨秋御主人御他界厚く御悔み申上す。高橋、小藤、宗宮、品川近年御病氣勝ちの御様子何卒お大事に。北の奥津陸から「お千代さん(島川)」から所々より元氣なお便り、雪深き新潟の相沢如何お過してしょうか。

二十三回東級

滝野 永田

卒業以来二十九年、皆見先生にはお変わりなく四人のお子孫も立派に御成人お孫様も五人、年二回の教会には皆見先生初め牧野岩倉、加戸、竹内、玉木、磯村、西村、森、菅野、大杉、広田、近田、野田、山本、末次等集り昔の思出話などに楽しい一日を過ごして居ます。千葉の石田、青屋の伊藤、秋田の木崎、下関の沢、宇都宮の中島、藤沢の登坂、在京の三井、三浦、持塚お元氣なお便り。本山には二十八年秋曾孫にて御他界、秋沢御主人は一昨年御逝去本にお住ひ、岩倉、鈴木、伊藤、中島、山本はおばあ様組、戦後の苦しみにもめげず皆健康で堅なお家庭を築かれお子孫力も立派に成長され大学を出られた方々も十三人、其の他八人高校とお子孫の成長を羨しみながら居られます。坂田林平松、原田、三木、頼母、鈴木睦方の御住所御告知の方はお知らせ下さい。御一京の折は小林(牧野)にお通知。

二十三回西級

近藤 吉川

皆様その後御機嫌如何でいらっしゃいますか、御伺い申し上げます。御内生には、長野県に、御高船にもかかはらず、ますます御元氣の御様子で、何よりも嬉しく御喜び申し上げます。今年は早、卒業二十週年に当たります。東京在住の皆様にも御安んじは、拙宅が松本へ御転任なさいますし、黒田が清水より久しぶりに東京へお帰りになります。

二十三回南級

三浦 雪山

昨年四月末に、森戸が御逝去されました。平素からあまり御丈夫ではいらつしやいせんでしたが、誠に残念に存じます。謹んで御冥福を御祈り申し上げます。

皆様御機嫌如何でいらっしゃいますか、殊に地方の方々は御無沙汰勝て申訳もございません。御序の節委員まで御近況御知らせ下さい。在京の方々は年に二回位開く教会に御出席下さい。又、その結核治療期の御手帳の語や、大学受験の御心配等、又はダンスの御調、自作のロケット染の御披露があったり楽しい時を過ごします。学校時代から一々本當に御披露があったり楽しい会でございます。未だ御出席頂いた事の無い方も是非振つて御出席下さい。また御披露致します。尚、四月から梅田と豊島とで委員を致す事になりましたから宜しく御願致します。一年間充分な御手帳も出ませんで申訳ございませんでした。四から梅田に御致しました。

二十四回東級

関 恭子

蒲生先生を御迎へられ御機嫌はよく、神坂、小川御主人御不快御機嫌中、伊藤(曾)御丈夫になれました。馬場、荒井御主人大いさきと御子様の御養育に御苦労の由、石川御主人を助けて御高船に御活耀。服部御主人御茶の水公園を御鑑賞、重松小樽で、長沢東京で共に御主人御開業御手帳に御多忙。小林小田原御内高校へ御奉職。佐倉小松川高校に勤続二十四年。戸田に御致しました。

二十四回西級

林 宮田

田もよ先生として御活躍、渡瀬昨年大病なさいましたが今は御元氣。岡部千葉医大へ御入院の由、原田は御勤め、新井も三人の御子孫の御生活に御奮闘。佐田御主人へ御転任、土田、加藤、岡田、吉岡、平、安井、花井、吉田、坪田、石村、西沢の皆様、き主婦として御幸福に御家庭生活。天現、氏家、小島、伊藤、渡辺の皆様御消息幾分か何へません。池本、諏訪は御住所不明。辻、岡部八無事で居ります。

二十四回中級

宮 崎

戦後始のなつかしい級のお話を伝えます。毎年五月の教会に必ず御出席下さる御引先生は昨年春の世を遁へられ益々御元氣に今も御高船に、荒川先生も御高船の校長先生、徳永先生は名古屋に御住ひの御様子。吉田、三角、横山、羽田、成岡、小松、伏見、河野、吉川、吉原、鈴木、金子の方々も御子孫御成人で、奥妻賢母として御家で御活躍です。三浦真千家の御既、何卒お出かけを。関口水い間の御生活の甲斐あつてすっかり御元氣、佐藤廣昭の医学部圖書に、富川女子学院の先生、田島増玉で、青木、奥田北遊道と京都、近藤御主人御元氣でしよう。いつも御返事のない方も御元氣ですが、お便り下さい。時鐘柄それぞれ受胎生をお持ちの方々も互に頻りに申し上げます。大谷は駒場幼稚園(同窓会立の先生として御活躍、私も御一緒に働かせて頂いています。分節御元氣で級の為働いて下さいます。皆様ぜひ遊びに。

二十四回南級

斎藤 君子

戦後中島がおお折下さいました級名簿も段々増え三三三御補助定金の金を加へて三十九名に達しました。木下よを先生も今年還暦をお迎へになれましたが未だ四十代の若さ、お髪は白くなりですが益々お元氣で教会の中心となつて御出席下さい。嬉しい時は来なくても悲しい時、苦しい時はいらつしやいとの言葉をいつか承りました。井上お元氣で今今スベインのマイドリッドで大変なでいらつしやると承りました。

二十五回東級

吉村 春枝

何時の間にか中卒となつた私共の御消息、渡辺小三、御子様おありとお若く、茂見東東御振動、丸田と共に御長男御就職、山田は昨年二万御就職共にお喜び、河野、井田、中村、根本、秋田、小林御子様大きくなられお元気で御活躍、清水吉子らの好學心増々御盛、富田人生再出発をお喜び、由良三入大学とか、井原、正田、朝香、御振動お喜び、石原、御御職業御振動、京御在任になり御主人の御光に御協力、長谷川、堀江、桑原御子様の御成長をお喜び、桐原お調子、鳩山大、鶴と共にお励み、飯塚大勢のお子様次々御成人、南光御振動、永江お元気で補物教授、多田御主人御不快の由、荒御振動、御共に御金を上げます。中野お子様入試に太宰府参りとお喜び、太田、二宮長崎に御住、石橋本校の御活躍でございます。

二十五回中級

桜 吉崎

お久々皆様、御便りが伺えるようになり、お役でしたが急病で私が休みます。お返事願ひ吉村三三、三の坊様、樋口は旭川から大阪へ、男一女と各々お喜び、御振動子、久々福田より幼稚園前のお子様と専ら妻の座に、生野もお励み、いの中にも皆様お励みに一方御振動のお手伝いの由、食料は昨秋、何年より伊丹から御上京、益々張切り五人のお母様、向便り外に、吉妻は英大津三三のお振動をはじめ六人のお子様、吉妻は

御婦御後益々英大津教育の大家に。大倉は、MRAより目下ハリ御滞在、今月末御帰朝。若見はお花の大家に、鈴木御子も横浜で先生に合、御活躍、どうぞこれを機に御便りとお喜びの時おりの振動に御出席下さいようお願ひ致します。

二十五回南級

西原 古谷

中京先生には八十三歳の春を迎えられ、目下御不自由年、お元氣にお待せな御後、石川先生は昨年そのまゝの御振動、御元氣でお過しです。新潟の八木三三、御子持、吹雪の中御通学は大変の由、神川松原市で内科小科御開業、富山の御振動文夫になられ、たまの上京が御喜び、鈴木(福倉)御振動、関西の御所をお参り、鈴木(茂)、海輪も健康を回復されました。丸茂NHK他、週五本のドラマを書き下される由、増々御活躍、さい、佐野、山本、平野、角、田上、一之瀬、永田、五島お集りにはお元氣なお顔を御見せ下さい。堤のお振動幼稚園で、バレーを教えていられます。大石一家の安柱としてお働きで、客御婦園が連れ大御苦勞されました。膳場、長谷川、長い御振動人に行届いた御振動、竹井民生委員、高木お歴者として、又新木、北条、鈴木、教育者としてそれぞれ社会にお活躍。鶴岡、村山、中村、神戸の鈴木御在所変更、西原、古谷元氣で居ります。

二十六回東級

松林 敬子

何分にも時日がな、紙面も限られて居りますので昨年の振動の御報告を致します。

新緑の五月廿一日御光榮に於て卒業五周年記念合同振動を開

催、長倉校長先生、石川先生を初め當時の林、五十嵐、川村、横山、三代川、斎藤の諸先生がお忙しの中を御いで下さり、秋連級友は井余出席と云う盛況、女学校時代の気分ひたり和やかな楽しい集りでした。牛増東級は御都合の悪い方が多く、安藤、河本、吉田、浅野、田野、島に私共の七人で少々淋しく残念で御座りました。秋は十月八日吉田のお世話にて参議院会館第四会議室でお催し下さいました。幸に川村先生もおいで下さり、安藤、大木、河本、吉田、関谷、村川、楢山、久保、島、伊能に私の十一人、大層楽しい場所と思って居りましたが誠に静かな落ち着いたお部屋にて居るお話に花がさき、時のたつのもわからぬ位楽しい日でした。何卒此春の級会にはお出かけ下さいませ。

二十六回中級

平川 太美子

終戦後始めて級の御消息をのせる事になりました。級会で折々御目にかかる皆様は何かと御様子も判つて居りますが遠く地方にお住いの方々は如何お過ごしでしょうか。御元氣の事とは存じますが又おひまの折にお便りを頂けましたら会報にのせまして御近況をお知らせしたいと存じます。昨年九月川上、を二十数年ぶりでお迎えし級会を致しました事は大変嬉しい事でございましたが、昨日は御主人御急逝はされ誠に御傷しい事でございました。御子様方の為は今後力強く生きてゆかれず級の皆様もお励みになつて下さりませ。浦は去年八月岡山より仙台に御転居、岩片と旧交を暖めていらつしやいます。朝川は長

い御振動の甲斐がありましてアタタクの方に入られる程になりました。皆様どうぞ御大事に。

二十六回西級

猿山 土屋

中村先生には益々御機嫌よく御家族皆様とお賑やかにお過して歌作に御進んでいらつしやいます。昨年十一月、島山の御宅に在京の十数人が伺い、久々に先生を囲んで楽しい半日を過せさせて頂きました。久しく地方にお住まいだった間、大期、茨城県から御上京の佐古の御参会には殊に嬉しく、皆大変お元氣でそれぞれ御子様の教育に心を砕いていらつしやいます。その他、在京の石津、野崎、浅沼、大野、横山の諸様、名古屋の丸山、高崎の吉田、市川の西山、大阪の小松方も御機嫌よくお仕合せに御過して、在米の金子のお帰りの御喜びのことです。藤田には永水御病弱でしたが昨年十一月十三日遂に御永眠、謹んで御冥福をお祈りいたします。御終戦以来御消息を承りません十数名の皆様にも、一日も早く御連絡頂きますよう念じて居ります。

二十六回南級

三上 初代

一月二十一日新年を兼ねての級会を開催、水田、喜多村、田村、内海、末田、竹、田中、池田の諸様に高洲と三上、又久しぶりに片岡も御見えになり皆で歓声を上げました。皆様御子様の教育最中その苦心談、社会での御仕事のお話等尽き所を知らず半日を愉快に過しました。御出席なかつた方々の消息もわかり皆で安心致しました村上、松村も回は御都合悪くいらつしやい

ましたが、昨年五月仰光祭での学年会には元氣なお姿を御見せになりました。世の中も落着きをお重ねる毎に出席の数の増して参りますのは誠に嬉しい事です。幾年の月日を経ても会えば共に学び、遊んだ頃と少しも変わらなうございます。遠く離れて居る皆様もそれぞれ元氣で御活躍です。少々御不快と聞きました大原も最早や御全快の事と御察し致します。

二十七回西級

大久保 静

久乃先生最近カザ、クリスタの訳を松本憲子氏のお名で講談社から出版、増々お元氣にお暮し。磯部貴美のお仕事で活躍、目下ハワイの支店に御在任、和氣電氣公社の局長夫人、山崎の御主人帝國ニールヒュームにお勤め、波津久昭興業にお勤め、すつかり実業家にお成です。堀本お子様大学二年と一年に御在学。大田学英大の教授近々学位をお取りになりますとか。平田平塚で義経院御盛業の由。安田洋蔵のデザイナーとして御活躍。大後氣象官の大佐先生の奥様、高田相変らずお元氣。山田東大法学部教授夫人、三田安部省人掌御勤務。小林(金田)奥ゆかしい奥様。松村御主人広島島で御死去唯今御喪察に。辻巻、山口お子様御秀才でお慕し。竹内サンモール修造。大塚長安貴母で五人の母君、御主人藤原病院皮膚科医長。岩野一昨年御主人御他界御長男とお二人暮し。川本お元氣。大久保開業医の妻。

二十七回南級

穴沢 多羅尾

杉沢会津のお医者のお奥様、西昨年暮お人形の様な赤ちゃん御出

二十八回西級

手塚 前田

金澤式をお通しの堀内先生には八十歳奥様七歳御健康をお祈り致します。山本可愛らしいお嬢様調四歳半。安東と言うより小沢聖明十友さんは一男一女、三人のお母様重元。戸村は御元氣。吉村はいつ迄も新氣分。島崎賢母の陣井。二男一女、島崎。野とすつかり京御子の竹村は作好く。一男、布麗、二男、島崎。男一女共に御長男の春大孝。御新築の佐々木御子様東大卒業。大熊お嬢御茶の水御教育専心の由、よい御子持の賀田久々で東京へ。宝樹一昨年から東京へ。島田、流野、鹿野島と大阪でそれ御活躍。近藤北海道、万木は北米、四人のお嬢様お揃いの相沢健貴、宮崎お幼ちゃや幼稚園。山崎一男四女の御ママ、山本(小池)、山本(松本)、松島、石崎、加藤、美穂恵の皆様御元氣。その他の皆様如何なさいましたか。手塚二男、前田一女。

二十八回南級

近藤喜久子

青木御元氣にお通し、池田陽春の候七年半振りに来園より御帰園の予定、秋山五人の御子持で忙しくお通し、山口博多の目目の通りで藤原御経営、昨夏十六年振りに男子御出生、野地、黒岩共に三人のお子様で学校関係御奮闘中、上小沢淑の夢を見下ろのんびりお通し、木村、故郷にお住いでこの夏九十九里浜に御案内下さる由、維高校のお嬢様の御成長を羨しみにお働き、鈴木御受洗なされ母様の為にお礼し、河内、月永御長男受洗御添で今治より御上京予定、角田十八年御主人御他界、只今大飯御在任

産。石井最近平河町へ御転居。石野銀行支店長夫人。松行光君は防衛大教官、四人の御令息。北村既に事務のニヤスパート。木村有記の医師で且、良妻、小田御主人御病弱中、水の江九州の。木匠者の奥様、才媛の善態々々。庄司お子様は秀才揃い、今泉横浜御長夫人、花の娘なお嬢様五人、坂本熊本でお勤め御好き。な面に御精進、佐瀬やはり職業職職に。杉山、村野御様上々。永沢とてもお若い。山田玉の様な坊やの養育に御留意。安田室に名高き調達所長夫人。久木田五人の御者、東京振動をお得業。土屋敬会の花形、家庭では良妻賢母、石塚典現の世話女房、矢札、松沢多忙の由、男二女。栄谷御長夫人、お仕舞にも御精進。江沢センターの山谷さんを想出して下さい。南部御主人御他界、一家の大黒柱で御奮闘。藤原閑雅に茶道。矢島東北大の教授夫人。

二十八回東級

石合 平賀

級の皆様お元氣のこと存じます。いつの間にか四十歳を歩むようになりまし。皆良先生も、お元氣で教会毎に御出席下さいます。去十一月張居安史(旧書野)を台湾よりお迎えし、二十名程集りました。お話ししている中、だんだん昔の面影を見出し、楽しい一日を過ごしました。人世旅路は、各道いですがお互に何事がある時、あった時の杖となり、柱となりあうものと皆様、消患災は密に仕合度いと思ひます。地方でお住いの方も御上京の節は幹事に御連絡下さい。

永峰御雙葉学園に九十二年折りの御生活、荒御長男御進後には有効に楽しんで下さい。仰せ、長谷川兵衛で輸出御業御經營で御多忙な毎日、藤田、平倉御子様とのんびりお暮し、武笠札幌の御生活も板につかれ御元氣、松井浦和でPTAで御活躍、深田御健康復され御幸福な毎日、高木、近藤子供に追われ平凡な暮し。

二十九回東級

窪田 下永

蒲生先生には本年一月めでたく七十七の御誕生を重ねられ、益々御健やかにいらして、昨年十一月某の心ばかりなる催しには、誠に勿体ないような御言葉を賜りました。三川先生卒業当時と少しも御変わりなく御美しい御笑顔を教会の度毎に御見せ戴いて居ります。次に遠い方より、林津市にて家庭教師所の調停やら選歌等に御活躍、大倉市の小倉、吉村、佐藤、黒野の方々は今春御二人ずつの受洗生を御持ちで御母様方切つて居られます。佐野千葉市に御住いで二男、五歳も男、野村は三男一女、武藤二男一女、長谷川は五男一女、田中三男一女と、皆様よき御母様として御通しの様子、字数の制限上、御書き戴いた十分の一も御報告出来ず、非常に残念でございます。御敬し下さい。

二十九回南級

長谷川 座間

木下先生は大愛御元氣で御習字に御余に俳句等、益々御進で私達相交らずお導き頂いて居ります。三重子様は御苦労なさった様ですが唯今は田島御夫妻と御好な長男をなさって楽し相、品川

出典を本格的に勉強なさって放逐もさう一度御聞かせたく存じます。栗原、平井、杉田、小室、渡辺、市浦、福井、白井、宇山、宮沢、井尾、柳川、荒井、武信方には威々威々で御目にかかります。夫々好い御母様より御子様の試験が唯一の悩みの種との平和な御家庭の方ばかり、藤川君十一月に御幸福な御結婚をなさいました。十時御元氣との事、伊藤とか子何事にも驚かなくなりましたとか、峠原店に御務め、八千、山形で歯科医で御活躍、萩原君からずいぶん松校会理事、長谷川益々御発展、鹿間は主人をくししました。

三十四中級

石森 最上

希望にもって学歴を果立ったのは、この間の事と風へますのに、はや二世が大学受験の年頃となつてしましました。永い戦争とそれに続く辛い歳月を送りましたが、いつも変わらぬ温容を待たれ御元氣な寺島先生をはじめ、進へば音を彷彿させる仲間達が折にふれて愉しい集ひを持って、ま事は何にも増し喜びでございませう。恩師井先生、赤崎時を喪ひました事は哀しみに耐えます。戦争に御父君を亡くされた大谷、栗田、御父君御消息不明の錦は一問御聞申上げると共に及ばずお力にならねばと存じます。先年四国より遠来の越智をき迎へて教会を開き、北海道からは見玉、秋田からは川上が折々に御便り御寄せ下さいませ。どうぞこれまで音信不通の皆様も是非御連絡下さる様お願い致します。御上京の折御知らせ頂ければ御目にかゝり度く存じます。

三十一回東、同西級 小野 三宅 裏辻

私共の学年では一昨暮芝のタカラクラブ、昨年春日白の日立クラブで学年会を開きました。どちらも四十名近くの力が集り来しい一日をすごしました。殊に昨年は卒業二十週年記念との事で東級河野の御好意に依り豪華な日立クラブで誠に意欲深い学年会を持つ事ができました。遠い所からわざわざかけていらした方、可愛らしいお子連れの方、お食事も終つて自己紹介が始まる頃には二十年の歳月も忘れて昔の女学生に還つた様な気分でした。尚週日の為にお勤めお持ちの方、お留守居のない方など御出席出来ずお心残りの方もある事と存じますので、次回学年会開催の際はこんな点も考慮せねばならないと存じます。御光榮へ通つてやうと調べた住所を頼りに通知を出しても御返事を全然下さらない方が半分、符號がついて返つて来ようものも通かあり、がっかりせられましたが、その半面北級、九州あたりから美しい絵葉書まで添えて嬉しいお便りを頂きました時は餘事利と申しますか本当に嬉しくございませう。どうぞ皆様学年会には奮つて御出席下さいませ。若し御欠席の時ばかりはせめて御近況でもおしらせ願えれば幸と存じます。御東郷新事は橋本千代子、寺島清子、西級は従来通り異議でございませう。学年会出席者 東級(順) 鹿原、黒金、渡石、仲、館田、田川、佐々木、野沢、小野、岩崎、寺崎、加藤、藤松、秋田、橋本、三宅、西級(久米、加納、尾崎、水野、裏辻)

三十一回中級

嘉悦 土屋

昨年十二月一日、日立の日白クラブに於て、卒業二十週年祝賀会を開きました。参加者約五十名、内中級の出席者は、松浦、法眼、藤里、辻、北野、高橋、沢野、北条、渡辺、中島、嘉悦、土屋の十二名、一同久し振りにお会いし昔の思い出やら、家庭生活の苦ややらに花を咲かせました。当日欠席者、近況の分つてゐる方は、筆は福岡で婦人会に御活躍、徳本、松井、時々お会いの由、深田は育児と教職に御多忙、井上は御母様とお子様の水いらすの御生活、林はすっかり良妻賢母様を脱ぎ、垣内は母親病の傍にお住ひ、井上は東洋英和で御教職をとられ、三宅は大阪界に、青村は京都東山にいつれも御元氣の由。

三十一回南級

有賀 古賀

昨年度の学年会に御集りの方の御消息から、北川は御長女御高今春御卒業とか、岩崎はお子様二人お育ての傍御師の先生、鈴木、近藤(青梅)から御出席、はそれ、御医者の御主人へ、内助の功多く、大井は主婦業の御遊藝生地店二ヶ所も開いて居られるとの事、山本(山登)は御主人の歿後四人の御子孫を養育お育てとす。山本は小さいお子様のよきお母様、以上九人御出席、御御返事頂いた方、秋田の藤原三人の御子孫中心にお元氣で、経緯は御主人にされ小さいお子様を育て秋田福天に御勤め、松田も御主人の歿後、教育大の農場に十三年も御勤務、西尾はお子様一人のよきお母様、次の委員に内々、長谷川は小橋にて御子孫三

人、寺中は御主人とバツ、高橋はNHKで御活躍、御子孫五人、委員の有賀は主人歿後長男を抱えて奮闘、且米軍通訳、古賀は奉天より引揚げどうやら通してをります。

三十二回東級

中 桐 和

小島先生お元氣で市川にお住ひ、級会では私達と見かけのつかぬお若さで当時の赤穂は今や年頃の出、過ぎし年月を省へさせられます。私達も今春大学進学のお子孫のある方もあり殆どの方が一人から五人のお子持で良(心)妻賢母として奮闘の具、岡島、宇治原、岸田、工藤、本橋、清水、高須、田川、土屋、中島、二階堂、沼尻、野村、増尾、水野、宮島、宮田、村松、山内、山本、お母様養育社会に出て活躍の磯村(高校教師)、守屋、斎藤(医師)、御主人にくれお子孫を抱えて奮闘の坂井、池、御主人水御遠で心配の奥山、洋蔵その他おつとめで若々しい日原、小杉、大谷、高橋、それ、の分野に三東型の御奥さまを御推して願母しい活躍ぶりであらうと存じます。何度お便りしても御返事のない、その他の方々の消息不明か誠に残念でございます。

三十二回中級

高田 薫

皆様一応おつ池いも卒業なさつて多少は間時的なゆとりも御出来なつた此頃と存じます。昨年四月、十年なりに御お寮にて級会を致しました。出席者十三名、久万先生は千葉から、高橋は仙石、小池上は新潟、木村は山梨からお集り下さりまして、ほんとに楽しい集りでした。その後六月に久万先生の千葉市藤田町

に御免なされて居ります。杉、織岡、長井、加藤、田中、佐近赤喜多、安戸、三木、西山、沢田、町村には連絡がして居ります。が最近の御機嫌は一寸わかりません。橋爪は広島商學院の先生、中野は川崎市にお住いでお元氣、横田、時崎繁中と伺いました。どうなさったでしょう。渡辺とはお近で時折お訪ね下さいませ。樋口も昔とお変わりなく、いつそは塾におつとめとか。安田

を東京におまつくりなす。

平沢朝子

花咲く春に本國に永い間休みをした清國船のせて頂けました運
びになりました事を楽し存じます。
級の故郷にお元氣といひしやる事非ざります。最近に聞かれました
したの故郷の事、野田が「一半旅の事非ざります。最近に聞かれました
に岡田、の御好意で一月六日に清國の岡田のお宅で皆様に御集
を願ふ。楽しい日を過ぎて頂けました。関西方面にはよく知ら
御清國野田の元氣を面談して頂けました。岡田のものをよくし
せて頂きました。お集り下さいました方には、野田、磯崎、御園
生、栗原、三宅、池田、生田、市ノ瀬、森川、岡田、西川の皆
々協力してまいりました。

島田美津子

二十一年 御機嫌如何ですか。委員不行届で今井先生に

和田佳子

武藤 朋子

生、高藏の音楽、大島は琵琶を東横街デカイで、いつつし、い
 無気になれ、近江は女お勤め、御茶家御小僧はの野郎
 元氣に、安田は渡り下す。御茶の無杉田、石原は大若、し、
 島、安田、渡り下す。御茶の無杉田、石原は大若、し、
 近江、小村、長島、三村、堀端、高藏と武蔵で、二人は根津、大
 川、大崎、中下川、高藏、八川、渡り、二人は根津、大
 朝からかきつ第三時代に盛つ、楽しい日々を過す。御子孫因は
 級のお清を嫁にす、とお知らせせ致し、先、皆渡相見をす御子孫、
 なくお清の御嫁にす。舞会は二回、前後相見をす御子孫、
 大島は渡り下す。御茶の無杉田、石原は大若、し、
 近江、小村、長島、三村、堀端、高藏と武蔵で、二人は根津、大
 川、大崎、中下川、高藏、八川、渡り、二人は根津、大
 朝からかきつ第三時代に盛つ、楽しい日々を過す。御子孫因は

保、大津、角田、田

卒業是年八月の春迄先生をそれく三人御子持に
し御侍の御様にて。奉迎せしは御妻なり。御子持
した處で、もお愛になられ承ら、御不快にな仕も御快に
向はれ、居ります。御子持方の中へ、喜代、山本、雄乃三
人、御不其美、正子、久保田、喜代、筒井、山本、雄乃四
男一女、校本男一女、佐々木女、中野御子女入、中野
子女入、現、杉明子女、杉山子女入、四箇女が御愛
で御苦なさつ。森は今御大入御氣、和田女御の御動
で助産院入院、村田は相承つて商業教育で御活躍、増見は御動
め、村も御子持になされた。中西、御不喜子、関、久保
清水の御氣持おかりの方御知なり。杉山芳子、雄井、福
田、平御子持に時は御上の方、森は高校と中学に邁進中
でございます。

もう御長女が高校生

三代川先生は中のお嬢様とお三人で元の校庭跡に御新築、時々級会をさて戴いておます。地方にお住ひの方は、金子、糸、竹、竹内を長門、吉井豊園、小橋福園、山崎あき丸、原平、畠、富永、鍋村櫻溪、宮原、石川、市川、柳沢経井、浅野静園、竹内仙仙、三島藤次、宮坂、上田、中島長野、あとは東京住いで

三代目先生は廿五のお婿様とお三人で元の松屋敷に御新築、時々鎌倉までおでかけされておられます。地方にお住まいの方は原庄、糸島、鶴見町、吉井原、小樽橋、山崎、知多、淡路町、金、富崎、竹久、宮原、石川、市川、御茶屋井、淡路町、川、内仙石、三品屋、富坂、上田、中野野、あは東京住でございませう。

さうぞう先生よ

三代川先生は中三のお嬢様とお三人で元の松庭様に御新築の時
級会をなさて貰ひておりやう。地方にお住いの方は金子、永
崎、竹内長房、吉井重雄、小樽福間、山崎愛子、豊嶋海町、原子、
富永、饒持源次、宮原、石川、市川、柳沢軽太郎、浅賀國綱、竹
内仙台、三島沢、富坂、上田、中島長町、あとは東京住いで

廻します。御子様四

三代川先生は中三のお嬢様とお三人で元の校庭跡に御新築、時々級友をさせて戴いております。地方にお住いの方は原井、糸崎、竹内長岡、吉井豊岡、小橋福岡、山崎愛知鳴海、金子、富永、饒村横浜、宮原、石川、市川、柳沢井沢、浅賀静岡、竹内仙台、三島愛媛、宮島、上田、中島長野。あとは東京住いで

武藤で、一人は根津

崎、竹内長岡。吉井豊岡。小椋福岡。山崎愛知県鳴海町。金子、富永、饒村横濱。宮原、石川、市川、柳沢軽井沢。浅賀静岡。竹内仙台。三島藤沢。宮坂、上田。中島長野。あとは東京住いで

家で御静養中の河野

内仙台。三島藤沢。宮坂、上田。中島長野。あとは東京住いで

三十四回四級

清野　敏子

最後は仕事に生活に通はれ、通しの毎日を御使いですが、多数の御用度不問の方は何時までも御座います。御消息を聞かす御往復もありません。昨今の騒動も大体は安んじぬお願ひですが、大内先生と益々御元氣で、神主様御親所に御親類も御多忙の中に御用度無一感ります。赤坂はデパートへ、河西は小倉村に、アノ御指掛に余念なく御子様二人、川倉様と賢夫人の貴賁君御嬢様二人、良妻賢女の丹治は一人。平野は一人。横山は日光へ幸甚幸甚御生活は、賀田は御師匠様へ。佐々木、杉本も御師匠の出、堺御長男とも應じ御控へ。富業は福岡御苑所。閑松は御衣々に。玉井印印刷会社。佐藤は利貞御返業。暁時は御勤めを傍人形見に御忠告。坂田は持て居る間て農藝復興。暁時は応接客にも一々女傭。内女を持て居る一人占に。概して御母探訪去の甲、私共も男一女は持て余して居し。

清野敏子

御使は仕事に活に如何に過したの傳で御座りますが、多數の御使に不明の方には如何に過して御座りますが、御消息を聞かばせまでもく存じします。時折、一級も大體は安かお願ひを聞かば、大内先生は益々御免で、袖舞御鑑所に御御座で親會には御多忙の中を御座り、頭頂いへて、赤坂はデザナ、河内は小倉、村井はアノ御指指に余念な、御子様へ入。川倉は賢夫一人の貴賤高貴の嫌嫌一人、良妻賢女の丹治は一人。平野は一人。横山は日光寺、長福寺長生を、賀田は御御後衛戸。佐々木、杉本も結婚の傳、堺川御ももう慶忌御へ。高松は福岡で御座。鱈は御御め、皆一人形、御子、御女、坂の幸は一人占、朝葉、連時時は、後成御も一人、女、一人、坂の幸は一人占に、横は御御探探去の、私、男、一、女を持、余して居る。

佐藤 浩子

一年一回か二回、輪番で役員が交代して総会を開きます。昔は一足前にかえて、速いといふ方がいます。又、二年に一度は學年會を開き、昔の先生方にお話を伺ったり、旧交を温めます。各方面の情報がおり、世間も広くなり、若返りの一助となります。また一度も出席されなかつた方には先にお話をしつゝ下さり、返つてきつたものの代り、お金の仲介が致しまして下さる。長年人生でつからおに嬉しいことも悲しいことも分かち合ひます。向次の方の住所が分りませんので、御知の方は、密告、又駒場

大田和子

幸に後刻くとも八月十日の夜、今更の生月と命との流るの早さに驚き、その間に職を換へて退いた。

またしが、この數年來時折病會も聞かぬお五の消息を交し合へば、なまじうに「醫佐先生は己の御師、東京へも御成入り只今静かに療養中なり」と御生父を羨ましいと思ふ。東洋の方々は八人地方の方は四人、あゝ十四人は手を尽しましたたがだに彼所不明で何處にも存在せず。昨秋小松療養の會には、常連に加えて卒業來始めめの杉坂（お光）の娘さん久々に寒しい時を通ました。一月には、関より佐賀上京になつた大島のお宅で敷を開いて下さり、珍珍方の方に目にかゝるとのは本當に楽しいのでござります。

終りに、お五の御上京、折返時に敎會を開き、お五に旧友を暖かいといふ願ひござります。

守屋孝子

高校内佐藤まで御連絡下されば嬉しいです。江沢昭代 勝又昂
子 沢房子、菅井俊子、伊藤義子、又御変更の方も御通知下さい
ませ。尚徳田（旧桂笠田）邦子が一月十二日御逝去の由中級の守
屋から御連絡がありました。厚く哀悼の意を表します。

渡辺経見子

目が少く、充分の御飯が出来なせし。其の運路の方々は
膳料、川島が三人、桂五十五つで横濱へ入食。中島、村止三は
柴火、高崎が二人ずつ、吉川、田中三人づつ、横濱へ前田、夏吉が二
人ずつ、荒木、清水が一ずつずつ、鎌倉へ、高西不明、其他他も一
人、酒井、安島に主顧として、社会人として御酒屋へ御入
學等々、その内へ寂まされいらしめる中、村上の長い御病生
活に心を折る間、同門仲間で又出た。又田舎年御衆の由、御衆生
活に心から来た上では、安藤がラジルに行つたとか、川井
を新ました。変つた趣で、御酒屋に。地方では、縁談で先づ御上
は、海外の留学から帰つて、御酒屋に。地方では、縁談で先づ御上
京野師（豊川市）も御上になつておきてせんといふ。河津は
京都、牧野（豊川市）も御上になつておきてせんといふ。河津は
座に預けられてゐます。是非立寄らう下さい。

通仕

が、色々な方の御託。何う度にもその御家へ特款も分り家庭訪問にききしめ願はれましよ。此の頃では御出立になる方々も大に多くなりました頭低けになつてしまひましたが、たゞに珍らしい方が見えてゐることに皆樂しみと御氣遣ひです。

そして皆学校時代に於て歌聲をあげたり。皆樂しむと御氣遣ひに出でなければなりません。地方に御住みの方々も御目分の御近況を出して頂きたいと致し、又戦争で大分消息も分らない方もありますので御存じの方の御親類より御一照下さいませ。甚だ御願い致します。

— *Continued*

一年に一回は級会を開く事に致して居ります。昨年十二月四日
宮川宅にて十二名の御出席でした。通知の返事は二六名、遠く御

住いの方々、塚本健也、前田映父、松本(若松)、松下(長崎)、飯田(愛媛)より御返事を頂き、それぞれ御元気の御様子で嬉しくございました。御住所の判らぬ方々には御連絡の方法がな

三十六回南級

内海 静子

級会は年一度、出席者十三人。田村先生御元気で茶道に御精通の由、御返事を頂いた方々の御消息、武田御主人は東大教授、坊ちやま一人、和子様は御宅で英語を御教えて。吉田長男六年長女四年、豊子様らしい朗かな御家庭、小松KRTVメータツ王様、御活躍中、御健康一人、ミユミ五つのお坊ちやま、勉強の相手等。様子様御長男一年御長女三歳、お母様御長男の御主人、只今御長男ヘルニヤ手術で御入院中。呉熱帯前中ノ一店を開いていらっしゃる由、御子様三人、原田も三人、笑い

三十八回南級

菅沢 素女

昨年九月二十五日、御光寮で十三回の級会を開きました。十八名程集まり久し振りのたつたのを惜しみつゝ過ぎました。其の後山梨より音が御上なさりましたので、本山の御宅で十数名集りましたが、それそれ御子様の教育に家事に追われて居ります中に、何か少しでも生活向上の爲になる事を分ち合い度いとの意御連絡頂き度いと思ひます。田村川村登喜子、小林和子、田中文子、工藤美和子以上の方で連絡先は渋谷区代々木山手町一〇三二菅沢素女へお願いします。本年も八月から九月にかけて林日先生の御都合を伺って級会を開き度いと思つて居りますから皆出席するだけ御出席下さいませ御願ひします。

三十八回北級

村尾 邦子

池田久光先生が信州から御上京の都度級会を世田谷の先住御宅で開かせていただいております。池田先生にはますます御社健にて、謡曲に御活躍なされ昨年春の観世会館に於ける先生羽衣の御仕舞は皆様におめにかへ度い程見事なものでございました。

三十九回西級

浜野 孝子

数年来年二回級会を開いて十数名の楽しい集りをもつて参りましたが、昨年はとうとう開かれずに過ぎましたので、詳しい消息はわかりかねて居ります。栗山が重心侍女修進会から、フィラ

ルフィアのローズマンド大学に御留学のほか、函館の内田、愛知の関、広島の高賀、長野の小林が御連方、その他の方々は札幌、都内及び近県に御住いの様です。服部は理立東京第一病院内科で御活躍、耕田、睦時はそれぞれ御教職に、近、内には非級会をもちたいと考えて居ります。

四十回中級

小野 竹子

卒業後早や十二年になりますが、私共中級では年に一、二回級会を開きます。昔のままのお元氣な高橋安子先生はじめ、皆様方と時のたつのも忘れお話致します。お子様をお連れのお母様も多くなりしました。

現在消息不明の方三名(青木、細谷、葛田)もしお分りでしたらお知らせ下さいませ。地方に六、七名、大半は都内に、その中多くは家庭にあつて家事、育児に忙しく、本年幼稚園或は小学校にお入りのお子様も、すでに小学生の方もあり、一番御多忙の時期かと存じます。私もその一人でございませ。又三名の方は(石橋、村松、佐藤)拙つて小児科女医さんとして御活躍、級会の折にも育児の御相談を受けられて居ります。今後忙しの中にも、同級会の他、つとめて御協力いただく様にお願ひするつもりでございます。又次の機会にはもう少し詳しく皆様のお子様をお知らせ出来ませう様に致します。

四十回西級

北川 歌子

卒業して今年で十二年、すい分長いようでもあり、考えて見れば、またたく間に過ぎたようにも思えます。その間、卒業の時に決めたことを固く守って年中行事のように、四月二十九日には級会を開いてまいりました。

いつもお元氣な池田園子先生をお招きして、ある時は学校の御光寮で、又は喫茶店等で、昨年も二十三人の多勢の御出席でございませ。お子様方も三年生が一番のお兄様で、お坊様やお嬢様をお連れの方もございませ。それでもお父様に一日のおつきりをおまかせして春の半日を前にかえつて楽しく過ごされる方々の意外に多いのも又時代のなせる、わざでございませうか。

皆様のお消息もお二人を除いて全部わかつているということも私共クラスのごよびでございます。今後ますます皆様の御健康にお気にならぬことを祈りて筆をおかせていただきます。

四十二回西級

川北 礼子

二、三年程前に御光寮で級会を致しましたが、すっかり御無沙汰をして居りますので、その後の皆様のお消息はつきり致しません事を淋しく存じます。此の機会に皆様から御連絡頂いて、一度級会を致し度く、御存知の方の御消息を是非お知らせ下さいませ。

関、長松は昨年御結婚され、中西は近く御結婚される由、鈴木(兼洲)は御結婚後の長い調習生活も昨年の手術でその後は調習に快方に向われ、石北(矢島)は主婦の傍ら勉強された医学を生かしてお医者様の道にも進みたいと願つて居られます。大田は留学の為渡米後引き続き病院にお勤めされ、鈴木(水間)、奥山(天

目、中村側、浜田野日、大木三巻、近藤、多賀(田口、山本(三)、川北(山田)はそれぞれ主編として、横山(夏目)はもはや四人のお母様、大和(渡辺)も主編として、又先生として御活躍されていらっしゃいます。

四十二回南級 江端 豊子

学業を果立ちまして早くも十年余りの月日が過ぎ去りました。丁度戦争の最中に学生時代を過ぎました私達は修学旅行などの思い出もなく、最後は勤労奉仕に明け暮れて卒業してしまいました。など存じた事でございまして。以後出来る限り集まりました。と毎年春秋の二回級会を催して居ります。懐かしい御光景に、又或る時は街中へも出かけましたりして、追々供さん連れも加わり大抵十人余り下ら、この時はやはり皆学生気分に戻って本當に楽しい半日を過ごして居ります。そのうちに一段と頻りにして学年会でも催す様になりました。ものと願って居ります。母校の誇りを何時までも失う事なく歩んで行きたいと存じます。

四十三回東級 河野三紀子

私達は終戦の翌年の混乱期の中に卒業したので、あまり統一がなく、級会も一度しただけで現在に至って居ります。総会や映画会等の時顔を合せる度に、級会をしたいと話しながら帰途に

つづのですが、住所情報の不明の方も少なく、実現もしない中に、多くの方が結婚され、青森等の家事に忙殺されているし、又忙しいおつとめの方もあり、そのままだお互いに御無沙汰をしています。併し、となく、家庭の中でも、社会の中でも、真剣に自己をみつめ、一歩でも前進しようと努力されていることは、お逢いする度に胸をうたれ心強い限りです。そのうち、子供づれの方もまじえて級会を開く日を楽しみにして居ります。

四十五回東級 田窪悦子

私共の年代が一番様々な境遇の方の多い年代なでございまして。か。家庭で御結婚の準備に万全を期していらっしゃるか、職場でテキパキと御仕事を片付けられ貴重な存在になつていらっしゃる方、それと奥様の方、奥様の御一人の方、御二人の方とそれぞれ多様な方々だけにお忙がしきもまちまち。昨年春の級会はいづもの様に御光景のお部屋を拝借していただきましたが急な雨にも拘らず十数人お集り下さいました。それでもやはりいつも同じ様な顔ぶれて、卒業以来一度もおみえにならない方も大分いらっしゃるのは残念な事です。(もともと私達の年代にとっては駒場よりもあの森布の丘の方により多くの思い出があるのではないのでしょうか)守屋先生がお志を東大教養学部前から五分、電車の中から見え所に御新築になりました。たまにお伺いすると喜ばれると存じます。

四十五回南級 崎山 正子

卒業後八年になります私の級では、主任の林松子先生にもおいでいただいて、一年に一度ずつは級会を催して参りました。が、昨年秋にその集りを持つ事が出来ませんでした。出席者十一人の中九人までが一家の主婦というこの集りでは、思ひ出話の合間に家計や家事のやり取りのお話も多く出ましたが、皆さん大層お楽しそうで、口ではこぼしても一向にくちらしくは聞かれない程でした。誰方のお話にも、少しでも生活を向上させ様と努力していらっしゃるのを見えて嬉しく思われました。たゞ、卒業当時の在籍者四十五人中、地方においでの方をお入れし入れても出席者十一人というは寂しい事でした。尚当日欠席の方も含めまして、半数以上の二十五人程に既に家庭はいられ、その他東南アジア留學生に日本語を教えられる方、ピアノを教える方、いらっしゃる方等いろいろです。

駒高二回一ホーム 油田 さえ子

切角の機会ながら皆様の消息が間に合います。御報告の出来ない事を残念に存じます。次回を楽しみにお待ちしております。

駒高二回六ホーム 小林 一子

皆様御元気でいらっしゃいますか。今度級会のお知らせと御依頼をうけたのですが、その後辞書急便の為級会を開く折もなく申訳な

く思っていた矢先です。で本當に困ってしまいました。願く親しい方達の御消息はそれなく、よく御存知のこと、思いますがこの紙面をお借りして私の知っている範囲でお知らせすること致します。小貴先生のお父様が昨年お亡くなりになりました。先生はお父様とお二人いらっしゃいましたのでそのお力落しとさそやと思われまして、大へん遅ればせながら葬儀と御一しに御哀悼を祈りたいと存じます。又、新木とみ子が昨年御帰国、お元気に音楽の勉強を続けていらっしゃると伺って居ります。皆様、どうぞ御自愛下さいませ。

駒高二回七ホーム 小林 頼子

自然は私達に管轄することなく卒業後はや七度目の春がめぐってきまして。永い交りを書き留めてお別れした春です。にお便りを交すのは二、三の方で、一回二十六人の御様子はいずれの所しからず申す訳なく、年に一度集りを持ちいつも十人程お見えになります。それが情報交換の唯一の機会とも申せます。私達の級では短大も含めて大学に進学の方が十一人、その内半数以上が社会に出て仕事をもちつて居られます。卒業後すぐ会社、銀行にお勤めなされ今でも続いている方が六人程、後の方は洋裁などのおけいごとか、個人的なお仕事をなさつたりといった御生活、御結婚なさった方は一人らしく、一人の方は二才の赤ちゃんの御母様です。でも有る程度ははげしいこの頃の世の中さう書き残っている内にも美しい御縁がどこかの窓の下で希望に胸をふくらませていらっしゃるかもしれません。嬉しい事に親友な

どの不幸にあわれたお友達もな、様ですし、遠く東京を離れて地方にいらした二、三の方もその地の最寄り会に御元氣な御姿を御見せになる想でございます。

駒高三回三ホーム

阿比留 青木

卒業してから五年、皆様職場や家庭、学校で御活躍です。相原都立大政経研究奨励。青木恵恵大在学。阿比留四月より家庭裁判所勤務。新井田谷区立蘇丘中学勤務。飯田晋吉院大在学。池田千恵大在学。四月より厚生省衛生試験所薬用植物研究室勤務。石上東大印慶女子学院在学。岡東女子大卒業後家庭。尾島家。近松田姓香川、一昨年結婚。相模大卒業後家庭。金田NHK名古屋局のフアウンサー。菊山精進サレタ出。佐倉国学院大在学。沙崎南多摩郡忠生中学勤務。下村東大薬学研究室勤務。鈴木三和銀行勤務。高橋タカ大阪女子大卒業後家庭。高橋友子東大独文科大学院在学。田村東京医科歯大在学。中野津田聖大卒業後家庭。原四月より労働省婦人少年局勤務。平山東京薬科大在学。藤本東京女学勤務。森野ラジオ東京勤務。山田哲子津野川高校勤務。山田河東大化学科大在学。山田道子東京女大卒業後家庭。山根家庭。堀尾西村同会勤務。

駒高三回五ホーム

木名瀬 中条

三十年五月、卒業以来一年一回若葉の季節に開くことになっておりますが、杉村先生の御好意により生のお宅で開かれました。三十名近くの方がお集まりになり先生と御一緒に住まひの

真見先生を交えて中々の盛会でございます。近況報告から懐かしい思い出話に花が咲き、久方振りの合間に過ぎし日を想ひました。幹事の方のお手紙のアップルパイ、先生御自慢のお漬物、お寿司等に舌をうつつ中に池田さんの日本舞踊、高瀬さんの独唱その他沢山の余興の後、先生方の歌を最後に来賓を約して八時頃散会となりました。昨年は大学へ進学の方々が御卒業になり、学校に放逐局に又は御家庭に各自の職場で御活躍をされていられます。堀田、浅川、小栗、斎藤、石崎、西川、藤波、渡辺の皆様は御結婚なさいます。

駒高四回四ホーム

荒木 杉山

私共卒業して早や四度の春を迎え候として居ります。全く光陰の如く月日の立つのは早いものでございます。しかしその間級の皆様もお変わりになり立派なサラリーマン、大学を御卒業なさった方、或はマッにおなりなる方等皆様の立場に於て御活躍なさっていらっしゃいます。やはり年に一度の級会はなんと楽しいものでございましょう。先日級の級会には専方先生を始め二十五、六人集り近況を語り合いました。専方先生も私共を御導き下さった時と同じ様に御元氣でいらっしゃいました。今迄静養中の丸山信子もお元氣になり又庄田も姓が佐藤になり成にお住いの由です。松浦も駒勢幼稚園後輩の御指導に當つて居られます。この外お集り頂けなかつた方々も次回には是非御出席頂いて高時代の楽しい或は苦しかった思い出を語り合ひましょう。

駒高四回六ホーム

徳田 晶子

則行先生は三鷹の寮で相変らずの御生活で私達の後に男子の級を持たまはしが現在を待っていらっしゃいます。石岡雲大、林田(上田)御結婚。江波戸三平銀行。小栗和光。所原(小沢)義女に行かれました。木村江子美術学校御結婚。画の先生です。斎藤立短大卒。佐藤立短大日本歯科大。鈴木千鶴子上野アパート。安原(徳)橋岡院住職と御結婚。御心御出産。富田明大。徳田レメ卒。中井栄義士学校。中島白木屋。中村直代大。中村玲子学芸大。西川キヤノン。森野大。兵頭東海汽船。別府衆議院書記。堀津田大。牧津田大。松本英大。関野教育大。円城山山内城先生御結婚。矢代慶大。山川貿易会社。山内東子女子。若林和光。その他の方の御消息は解りませんが、お元氣にお過ごしのことと思います。

駒高四回七ホーム

石 引

入学以来進級毎に級が寒みますので、級友と申しまして一年間だけのおつきひに終ってしまつた方もございます。眼が切つた方々ばかりの級事故一年一度の四月の級会には、出席率がいつとも上で皆様元氣なお姿を互に目撃し合つて居られます。恵まれた才能を伸ばし大いに学生生活をエンジョイしている方、結婚して若々しい奥様振りを発揮している方、実社会に飛びこんでそのきびしさと戦っている方等それ、元氣に明るく明瞭な頭脳で種々の問題を処理して一歩／＼人生の階段をのぼっていらっしゃ

います。私共の級だけ三分の一も男の方が御一緒にしたので何かと心強く、たまの級会には色々面白くお話の花が咲き他級の級には見られない様な和やかな雰囲気がありますもの、いつも御元氣に張り切つて御活躍なさつていらっしゃるお若い林三郎先生を中心にしての皆様つながりが強いからでございます。

駒高五回一ホーム

松井 しのぶ

皆様お元氣の事と存じます。此度の消息は日数が少ない級全部の顔が揃わず残念です。本年はお互いに四年目の旧交を温め、ニュースを交換致しまして、次の機会には今度欠けた方々にも是非御登場頂きたいと存じます。さて、お勤めの方は、河合貞子三井銀行、小林寿子同和鉱業、鈴木和子山陽パルプなど、学校においては力を学校別に致しますと、早大江尻健二、黒田礼子、三神みね、お茶の水女子大岡田千代子、奥山恵美子、松井忍、慶大宮世記子、丹下敏子、東京教育大宮下茂幸、村松幸子、東京学芸大黒住子、降旗恵子、東大高橋淳子、国際キリスト教大鎌倉江崎海、東大武部義純、法大富田一路、上智大石原徹、千葉大木曾暢子、津田スタイル・オヴ・ビズネス松村千恵子、女子栄養短大上野昭子さんなどです。

駒高五回八ホーム

森岡 和子

芸術科を始めに果立った私達なのですけれど、『実る』その時期は、早かれ遅かれ現在皆々々の分野で努力していらっしゃいます。本年は級会を持っておりません。昨年の級会の席では皆々々

の仕事の話に夢中でした。昨年ウィーンに留学なさった日地、アメリカに留学中の津田、海外に於て充分その成果を發揮なさるを期待しております。園内に於てもその活躍は目覚しく、水本は音楽コンクール第一位と云う御成績でした。今後の奮闘を祈りながら、更に芸術大学には五井、内藤、野崎、長谷部、峰村、村井、渡辺さん等、各々研究していらつています。国立武蔵野にも美術の方では雲大の油絵科に塩川、森岡等製作に励んで、女子美術で美山、米田等、芸術に専す方々と職場に於て充分活躍なさっております。各々の場に於て、若い世代としての主張と、行動をもって勵んでいく様、御座ります。

駒高六回二ホーム

小林 長岡

駒高六回卒業生が駒場を巣立つてから二年経ちました。我々二ホームは三年になって進学校として編成された為、殆ど全部の方が、三年前の丁度今頃は受験の苦しさをなめされて居ました。陽春の日ざしもその頃の我々には明かるすぎず背を向けた気がしました。いよいよ四月になつても成山の方がもう一度望みの学校を就く決心をしていましたから解放の喜びも大学生々活も、金満の卒業出来るものではありませんでした。昨年の春も、重苦しい春でしたが、今度は大部分の方がさす大に合格し、級全体としてやっと安心出来ました。現在は、短大に行かれた方にとつては卒業の春です。その他の方はいよいよ自分のしたいことに専念出来る、充実した時です。皆それぞれに今年こそという抱負をもつて働いています。

駒高六回四ホーム

浅葉 村上

「はたの光恵の雪」また生々しく耳に残っております。松板会の会員になつても二年になります。現在級友は僅か数名の他は大部分銀行その他各方面に就職しております。昨年の十二月二十五日には迎光寮で二十名の級友と杉村先生を囲んだ楽しい級会に一日を過ごしました。卒業後二年、皆各々の職場の盛況にも慣れた御様子で、自信と希望を持って、自分の力を充分に發揮して、仕事に精進されている様です。自分とお友達同志の連絡をつけ、現状を知らせ合う唯一の機関となる級会の運営は全員でなされています。というのは、卒業の際、五、六人のグループが作られ、級会を一回する毎に交替されて行きます。幹事に任せきりの級会と違つて、それらのグループのリーダーが変化に富んだ級会を生み、お友達はお互ひに次回に當るグループをみつめて、級会を楽しみに致しております。

駒高七回一ホーム

浅生 あや子

卒業後の一年の月日は、またく間を経てしまつた様でもあるし、びつくりする程色々な事があつた様な気がします。というのが卒業生としてはじめての春を迎える私達の気持ちです。卒業立の大学に進んだ者は休三〇名、三十一年度には希望の大学に入らず浪入した者もありましたが、三十一年度は三十一年度には各々希望の所へ進むことと思われまふ。見わたしたところ、まだ

結婚した方はない様ですが、後二年するとなかなか難関でこの紙面を賑わす者もあるでしょう。最後に担任の青柳兵衛先生が此度北大から学位をお受けになりましたことを伝えて、皆で喜びを分かち合いたいと思います。

駒高七回二ホーム

石川 恭子

就職パーセントをめざして、食が本心に一つにして頑張った級でした。狩野先生の御熱意とお骨折り、そういう皆の気持ちのおかげで卒業までに殆ど全員、銀行、会社へ、それぞれ就職する事が出来ました。それから一年、級会は卒業間もない五月のある日、全員に近い出席で、狩野先生を中心に楽しい元のホーム・ルームで開きました。一人ずつ、勤め先の事等話し合ひ、又学校の時の思い出話なども賑わつて、楽しい一日でした。グループ毎の親睦は勿論常時行われていますが、級会としては毎年春行ふ事とし、その世話にグループ単位にリレー式にもまわるとなっています。現在まで、勤め先を変えた人、やめた人が一、二ある他は、変りないようで、まだ「ホーム・イン」のお目出度の話も聞かれます。

級の名誉会長たる狩野先生も、益々元気で、近い将来にこの級会の人員が二倍になるのを待ちし、いらつしやうとか、それが三倍になり四倍になるもつと先まで、この級会をずっと続けて行きたいと、皆で張り切つて居ります。

駒高七回三ホーム

小林 北田

早いもので私達が希望に胸を膨らませて、卒業証書を手にした日から一年、再び春が廻つて参りました。私達の級は就職、進学、家庭とウアラティに大変当んでおりましたが、現在は何れの目標に向つて真面目に進んで居ります。

級五十数名の私達が皆同じセーラ、服に身を包み、同じ屋根の下で学問に励んだ日々も今は懐かしい思い出となつてしまつたが、私達の歩む道は各々異つてはいても目的はたゞ一つ、より良き明日の社会を築く為の努力をすることにあると思ひます。私達は職場での実生活の経験を通して、又学問の道を探求することにより、有能なる人間性を培ひ、明日を背負ひ立つ一社会人として立派に各々の責任を見事に受け加ります。(最後に付け加えます)私達は道で会つても一寸見違はしてしまふ程、ハハになりました。

駒高七回五ホーム

野口 堀

卒業してそれ〳〵の道を歩き出してから早くも一年の月日が経つてしまつた。その間私達が顔を会わす機会は級会と運動会位でしたが、それと皆が昔という訳ではなく、そろ〳〵懐かしくなつてまいりました。去年の夏、聖心の方達にお世話になった級会では、少数の人達の集りでしたが、深大寺の新しい林の中で、喋りしたり遊んだりして楽しい時を過ごしました。女子美の方達に計画して頂く今年の級会には是非全員出席して賑やかな会にしましょう。又既に皆御存知のことですが、桑田先生は昨年六月御結婚なされ、今、静かな三郷に住んで居られます。尚卒業後の五ホームの大体の状況は次の通りです。大学に通つて居る者二十三

名 就職している者二名、大學受験準備中の者八名、家庭にいる者六名。

駒高七回六ホーム

吉川 悠一

四十九名居た我々三年六ホームは卒業と同時に三つのグループに分散した。即ち進学決定した者、就職決定した者、進学に失敗した者と共に、進路の決定を見た者達と失敗した者との間には自然に関係が遠のいた。進学した者のうち中西、高橋、橋本、林田、藤井、緑川、山本、阿部、其山は新しい環境の中で学生生活のふん開きを見たが、清田の一步をふみ出さんとしており、就職の決定を見た秋山、基田、佐戸、實、吉川等はそれそれ社会生活に先足を踏み入れたが、大いに各々の職場で活躍している。進学に失敗したグループは今年の三月の試験で文士のききをする一戦を交える事であるが、八割位は希望通りに何とか決定をみるらしい。その際には、則行先生を助けて一盛大な宴会を開こうと思つてゐる。何と云つても待たれるのは四月である。同窓会総会にも沢山クラスの顔ぶれが並ぶであらう。

駒高七回八ホーム

鶴田 寿子

卒業後の状態について、私達の級は昨年卒業して以来特別変わった事もない様子で、現在の普通級の御様子には次の通りです。角南、家庭学習中、田中、京都交通通、伊沢、大東新式会社庶務課、居村、バハマ公使館、内田、家事手帳、小野、教育大体育部健康科、窪田、家事手帳、斎藤、東京化学工業医科技術養成所。

高等科二回

堀 貞子

昨年九月北海道の原田、御上京をよき機会に高二の級会を致宅で致しました。高等科のお教室でみんな集つてお話をしていた時の様に思ひました。昔の頃の語り、ちょっとした動作も学生時代の姿を思い出しました。昔の頃の語り、ちょっとした動作も学生時代の姿を思い出しました。昔の頃の語り、ちょっとした動作も学生時代の姿を思い出しました。

屋にお住居、お子様は大版に御勤務、松岡は札幌にてお元気に。倉島御主人様長男市長として、日露子は長野生活学園々長として御活躍、子供三人孫二人、白髪もなく元氣なお便りでした。御住所不明の為、お便り出来なかつた方々次の機会まで何となく御様子分かるよう致し度く存じます。

高等科三回

三 須

ほとんど本科の級の方で御消息が御座いますのでそちらへ御願ひ申上ります。安部は御子息御様一人ずつにいつもおやさしくおたのしみ多く御通しの御様子、他に大橋、森岡、広田御住所がわかりません。御案に申して居ります。終りにおなくなりになりました高野、伏見、佐口、水島様の御愛福をお祈り申上ります。

高等科三回

波谷 橋本

卒業後早くも卅二年をとつたもので御座います。橋引先生も御元氣にて先年教育者として名譽ある表彰を賜うけになり御慶びの至ります。青木去年十月に御長女御出産お若い御はあ様におなりです。御長男も御結婚、仁井田、中川、山本、寺崎、杉原、北川それぞれ御子様御成人にて御就職御幸福な御生活です。杉原御主人様御消息不明で最近経痛に悩みの御様子御大事になさいませ。本多御長男東大経済科御勤務長女御本々水大二年御在学、本田御一人の御子様十八歳におなりです。柴野御主人様今度参職員に御出馬のか洩れ伺いました。山田大勢の御子様と御元氣に御生活。萩野御成績の感元をして、いっしやいます中、其他

の方々も御元氣の事と存じますが、期日少く御遠事が間にあらず申わけ御座いません。波谷、橋本一人元氣にして居ります。

高等科六回

工藤 利子

卒業以来早や廿八年、歳に夢の様でございます。先ずお様がおありの方は沢田、堀川、高草、お祖母様の御状態は如何、僕は大阪にて御元氣に平凡な日々を御通しの由、石原、福島にて教育委員として御活躍、片岡、神田、山口、中島、佐藤、岩上、須藤、宗宮、藤田、清野方は時折の御集りにお目にかかり御様御元氣に、おしゃべり致せば昔の通りでございます。お気の毒なのは藤原、先年御失明遊ばされ御不目由の事と御察し致しました。長谷川、新川には御主人様御他界遊ばされ誠に御悲傷でございます。川崎、藤田、沢田、熊谷、山内、岡部、松原、上塚、浅山、丸山、品川、三沢方には如何御通し遊ばされますか御近況おもしろいませ。次に悲しい御知らせは中村様二十一年に、石田様十五年に御逝去遊ばされました。皆様と共に御愛福を御祈り申し上げます。終りに工藤無事。

高等科八回

小林 林

林先生昔に変わらず御元氣にて只今は成徳高校に御勤め遊ば御活躍の御様子、次に先ず御芽出度の御報告は閑寂のトップをきつてお祖母様に、佐藤の御長女御結婚、広瀬御結婚の御報告にお忙しく、小泉御全願の御開業の為高門寺に病院を、鈴木も御普請の御様子何れも羨しき限りで御座います。

小川高田

佐藤

山口 景子

篠崎 康子

小場三枝子

- 82 -

十名の御出席がございまして、其の中御川内、吉川、村上は皆村方の方でございます。御田は久の御中納言、岡田寛吉、井の御内膳は其の間御膳生活になつてお近頃元になつた御勤にござり御願、之ううれしとお話ございまして、その他御高野、高野、法西が御出席なされ、少し御模範でした。たが伊勢の時を以て。私は此急なことが御出席なされ、後が丁、伊勢から御時を伺ひ當にうけし存じます。此の急なことが出来、次回から一人でも多く皆が御集、御下なれば最もよき来いものになつて存じます。伊勢は特に御折返りし願

御上考、中村真子二年を頭に一男一女。樋口すみ子大森に御新
築一男一女。如藤登喜子御氣御余。佐藤田子昨年御上京、
一年を頭に二男。林信子御来ノ水降。男。小谷あい御子。御二
人。金藤紀子御元氣の由。吉田秀子三女共女。阿部孝子一男
一女。成瀬学園。栄信子御子。横田。丸尾照子。昨年御出産。細谷
子三人の御母。笹川久也。八尾。福田美枝元氣に御務めの
由。若林茂子一人きりの御生活。林御子。お子。結友。小二年生。大
島。御子。二男一女。岡山。御上考。小口。御子。東中野に御新築。米
の御子。三男。大野。重孝。御上考。島村。御子。二女。小學校
二年。御子。御子。七五。一男一女。小場。三女。小學校
年の男。二女。誌上御名前のない方は御便りがいたらず残念
に存じます。

高等科二十四回

保坂 照子

終戦の翌年、卒業しました私の級は、在学中に東西両敵が合
併してやうと十数名でございました。卒業後は、一二回級会を
開きましたが、この数年は開いて居りませんので、三年ばかり餘
事を致して居りますが、最近の御消息を存じ上げて居ります方は
その半位でございます。現在、大部分の方が、小學校入学以前
の小さいお子様方のお世話に忙しい毎日をお過ごしのことです。
遠方にお住いの方では、大塚(東郷)が秋田県で昨秋はじめて
お嬢様を得られました由、又西宮(松井)は昨年御夫君がオースト
リアに赴任なさいましたので只今キャンベラに居られます。現
に角、今年こそは級会を開きまして、久しぶりに皆様のお元氣な

お姿に接し、近況を語り合いたいと存じて居ります。

高等科二十六回東級

岡 沢子

大西先生は御手術後の経過よろしく再び敬禮に立っていらっ
しゃいます。浜口、二年前に思いがけず御他界。生後住は御結婚
後名古屋にお住い。来、坊ちゃん一人新宿に、水内もお子
様一人難所ヶ谷に。近藤、昨年八月生れの坊ちゃん名古屋。下村
結婚後も相変わらず新調に御活躍。市川市の御両親と御一緒に住
い。武田は昨年四月生れの坊ちゃんで西宮市にお住い。津下は新
潟から関分寺にお移りになり、前田は横浜、七月にママにおな
りの気。御山は渋谷区。村山は川口市、宮崎は昨春大グアイ
オリン科を御卒業。三月に御結婚京都にお住いの由。林、奥田、
山田お元氣の様ですが御消息に接しません。二宮は娘一人、新宿
柏木に住んで居ります。

四回西級

草川 ハナ

皆様御機嫌よき事と存じます。麻布の丘を巣立って早くも
五十八年の月日が流れ去り着なつかしく友誼をわし事です。東京
方面では一昨秋小金井東ヶ崎新邸で御會。藤井、江渡、奥山、小
泉、草川の七人集り、昨年春井部で御主人御誕生後に御會。
穴戸、江渡、奥山、草川の六人。六月は葉山奥山邸で今井、朝倉、
東々崎、穴戸、江渡、草川の七人集り。いつも君がとる心地の美し
さでしたが秋葉山奥山の急進にあい日頃親しく往來せしだけ淋

しさを感しました。昨年四月は阪多川御他界悲しみに打たれ
一昨秋は難松近が近年お会いせざりしを残念に思いました。
終戦後級会にも出席なされしにと思承る程の寂しさです。
皆様御健康お祈り下さい。御上京の時は今井、草川(必す
御通知下さい。いづれも級会開きます。東京方面でも御出小精
の方はつとめて会へ御出席願度く「老の友」に居ります。

二十七回東級(名短前判読) 大野 和子

小泉(石井)御短女他五子。松本、全井、二嬢小学悠々
自適。伊藤(今井)テニス大業一嬢。小川(若尾)小川耳鼻
間眼科院長夫人。張女。三男。自家用車。大久保(若野)家快慶
妻良きマ、岡部(工部)御高卒、外四子。貴殿(若田)御持
二男一嬢。賢夫人。野口(河野)二男一嬢。PTAに活躍。岡島
(清水)二男。御昇格門。水島(御訪)松井(高柳)仲良し二
人。林(中村)三男一嬢。御安泰。梅村(中島)良妻賢母。堀小
川(日高)林木坂教会牧師夫人。牧師夫人。二男。矢野(御
弟)三嬢入社優秀。二男。家徳寺にて薬。閑良(中川)休養中
一嬢。高橋(高橋)明治生命外勤。御幸他四人。竹内(岡場)
二男二嬢。御門。林(草林)返子で教員家族の良き中心。
東条(山田)友の会で活躍。二男一嬢。春山(若尾)日刊スポー
ツ春山氏夫人。自適。奥谷慶原信に健在。竹内(安田)百人町に
安住。梅原千代(山本)時折上京。外來群の方御連絡
を。鎌田(大野)洋館に第一歩、二女。

駒高六回七ホーム

津田 智恵子

楽しかった高校時代に別れを告げ早二年目の春を迎え、皆様は
は如何お通しの事でございます。社会に出られた方々は各々
の場にあつて十分く立派な社会人になられ、その後も学歴に
あられる方々も大学生活の前半を終え、勉学にお励みの事と存
じます。本年一月七日新年級会を持ち、出席者は毎回に比して少
なかつたのですが、十六名の方々と小泉先生を聞いて、なつかし
い高校時代をしのぐ、色々とお話しし時を過ぎました。渡
辺は一月末めでたく御結婚遊ばされ、早稲は昨年日大入學、西村
は曾我持許事務所、小林は安田生命に就職されました。又北村は
最近駒込へ移られました。級会において皆様の御承諾を得、北
村・磯山・梅田・山田諸氏と委員を交代させて頂きました。思う様
に十分その務を尽せませんでした事を深くお詫び申し上げます。

結婚遊船期のお子様をお持ちの方々はどうぞ御遠
慮なく御相談下さいませ。

品川区大井芝町七五
(二〇中) 大野 英子
(四二八四三)

札幌支店 江別市町村農場町村シヅ（七東）方

終身會費納入者でもお分りの様にと宛封の方で僅かに三千九十
円、卒業生檢査入会でもお分りの様に情けない状態です。どう
ぞ本納の方々は一日も早く終身會費（一時払で月金か、五百円以
上）なり、毎年百円なりでもお送り下さいませ。御送の方
法は振替でも郵便でもお送り下さいませ。お送り下さりまして結構でござ
います。

理事長 長谷部一、理事鈴木小彌雄、石川智野、華方みと子（三
一西）佐藤浩吉（三三五）富田陽子（二四四）上田美
津子（二六四）沢原尚子（二九四）

予。告。 名簿係

秋には名簿を発行する予定に致して居りますから御住所変更の
方、又同級級を問はず現名簿不明になつて居る方の御住所を
御在じの所には同窓會宛に御知らせ下さいませ。出来るだけ完備し
たいに致したいと思ひますから御協力下さいませ。名簿は一部
一六〇円予約致します。郵送御着の方は別四四〇円入用です。
部数に限りがあり品切れの恐れもございますからなるべく予約申
込の程御願ひ致します。綴り紙替用紙を御利用下さいませ。

戦後皆様の待望の消息欄をやつとの思いで復活致しました。色

御礼申し上げます。私達がお伝えした「理事長先生の移動や学園祭、運動会等の事も生徒さんの筆で、幼稚園の模様に当学生の学園祭にお願いしました。

広告をお願い致した方々には水色の為めに特別にお志を以て御礼頂き誠に有難く深く御礼申し上げます。併せてお預けの為掲げた体裁、順序等不適の点も多々ありの事と存じます。悪

予○告○
名簿係

終身事業に對しては、各々自分の持つ、完結の方を僅かに三、四十名、卒業生總數に對しては、一に皆に及ぶ、狀態でございませう。どうも未結の方は一日もも終身會費（一時決り得て、月か、五、十圓、二、四）なり、毎年百円づつをおおせ下さいます。御決意の方々は振替でも、現金支票もおとこけ下さいます。そして結構でございます。

理事長　長壽勝一、理事鈴木柳庵、石川菊野、善方々々子（三）

一西）佐藤勝一（三五五）富田陽子（三四四）上田美津子（二六四）荻原尚子（二九四）

秋には名簿を繕りて予定に致し居りますから御所変更の方、又同様の趣旨を御覧なり明になつて居る方御住所を御在なれば同趣旨宛に御知らせいたします。出来たてけ完備したものに致したいと思ひますから御協力下さいませ。名簿は一部一六〇円で予約致し、送致御希望の方別段に四〇円入用です。郵数に限りが有る品切れる恐れを申し上げますからなるべく予約申込の程御願ひ致します。綴込みの振用紙を御利用下さいませ。

しからず御了承下さいませ。あれもこれもと思つても出来上ったものは御満足ゆかないものかも知れません。たと私達がいつもく／＼いやな御催促をする許りでなく幾分でもお酬いしたい気持ちのある事を汲んで頂ければこの上ない喜びでございます。皆様のご多幸を念じつゝ稿を終ります。

昭和三十一年四月十五日印刷
昭和三十一年四月二十日発行

編輯人 久保シゲ

財団法人 日本貿易公

東京都目黒区上目黒八ノ六六〇

印
刷
人
會
長
盜
害

印刷所
扶桑印刷株式會社

東京都品川区大井寺人町一四三〇
(6)三九〇二・三九〇三

いつも
健康で楽しく!

毎日を明るく楽しく過ごすために……..
なにより大切なのは健康です。疲れをとり
体力をつくり、若さを保ち、健康美をつくる
ビタミンやミネラルをはじめ、金剛栄養の
西薬化をはかる肝臓エキスなど、24種の栄
養素を含むミネビタールは、健康の幸福を
お贈りする理想的な総合ビタミン剤です。

肝臓エキスを効果を高めた総合ビタミン剤

ミネビタール

12ビタミン・11ミネラル・肝臓エキス配合 80錠(480円)100錠(1,150円)

東京・銀座 三共株式会社

太田胃散

何処でも誰にでも
親しまれてる胃の薬

(効能)
胃カタル・胃酸過多・胃アトニー
過食過飲・食欲不振・二日酔

東京 東興製薬株式会社
五中・太田 菊子

新製品

パイロット スーパー
PILOT SUPER PEN

3238・3248・3249

パイロット表示筆

スーパー 筆2,000
14金ペン付 筆800ヨリ
前酸ペン付 筆250ヨリ

- 14金ペンの微妙な書き味を生かして設計した軽快なデザイン。
- 飛行機上の気圧変化にもインキが噴き出ない。
- 長時間キャップをはずしていても、ペンが乾かず、すぐ書き出せる。

(南24) 和田豊子

やがてお嫁入りです

日興證券株式会社

お子様の将来のため、
ぜひ不慮から
利殖を心掛けましょう
日興のニコニコ投資信
託は一口五千円ですが
配当だけでなく
元本の値上りも楽しめ
ます
ます
ます
御研究下さい御請
求いたゞけば資料送り
ます

東京・千代田・新丸ビル 電(27)1201

(15中) 遠山 愛

取締役社長 河野義一

いつも楽しい武蔵野エン

長坂映画劇場 小笠原武蔵野館 甲府武蔵野館 巴ラ座 高輪映画劇場 中野大劇場 尾久武蔵野館 尾久武蔵野館 人形町武蔵野館 辰巳武蔵野館 大井武蔵野館 大宮武蔵野館 自由ヶ丘武蔵野館 荏原武蔵野館 新武蔵野地下劇場 武蔵野地下劇場

☆武蔵野館ビル案内☆

都内随一の設備を誇るシネマスコープ劇場

武蔵野館
TEL (37) 1413・6777・0520

新宿で一番見よい／そして気分の良い／シネマスコープ完備
50円劇場 **武蔵野地下劇場**
15回西 河野愛子

最も新しい技術と最高の設備
ムサシ美容室
15回西 河野愛子 TEL (37) 6760

ボーク洋装店
大映・新東宝指定 デザイナ 河野美智子 TEL (37) 4884

新宿で只一つの本格的バレエ教室。
河野バレエ研究所
46回中 河野るり子 TEL (37) 0520

高級婦人服専門店
サラ洋装店

二十余年の経験を生した...
上品なデザイン
優秀な仕立

(19中) 和田さなへ
東京都赤坂青山南町5-58 TEL 青山 (40) 4734
都電青山五丁目(停留所前)

お買物は

交通便利な

東横

渋谷 池袋



